

「いい音」ビューティフル。

自由に気ままに楽しもう、おしゃれなミニカセットレコーダー。



**新開発DNSSテープヒスノイズカット回路内蔵。  
デジタル選曲機構装備。メタルテープ対応。**

小さなボディながらもワイドなステレオサウンドが楽しめる《ステレオミニ6600》。2つの9.2cmスピーカーが叩き出す4.6W(2.3W+2.3W、EIAJ/DC)のハイパワーは、豊かなステレオ臨場感を再現します。また曲の頭出しに便利なデジタル選曲機構や、テープ再生中に曲間および曲間に相当する低録音レベル時の耳ざわりなテープヒスノイズをカットする新開発DNSS(ダイナミック・ノイズ・サプレッション・システム)ノイズカット回路を採用。しかもメタルテープ対応ヘッドを搭載しています。

- AM放送の同調がしやすい周波数間隔を広げたロングスケール採用
- テレビの1,2,3チャンネルが聴けるFMワイドバンド(76~108MHz)採用
- FM局間ノイズをカットするFMミュート機能つき
- フルオートストップ機構
- ソフトイジェクト機構
- ACアダプター付属
- 9.2cmスピーカー×2
- 実用最大出力4.6W(2.3W+2.3W)EIAJ/DC
- 3電源/DC:9V(単2×6)、AC:100V50/60Hz(付属ACアダプター使用)、カーバッテリー:別売りカーアダプター-D-72使用
- 大きな幅41.0×高さ13.3×奥行7.3(cm)
- 重さ2.5kg(乾電池含む)
- ★キャリングケース(別売りL-6600¥4,000)もご用意。

**パナソニック6600**  
**ステレオミニ**

TRK-6600 ¥44,800



品質を大切にする<技術の日立>  
**RADIO CASSETTE RECORDER**



生活と技術をむすぶ  
**日立家電販売株式会社**  
〒105 東京都港区西新橋2-15-12(日立堂岩別館) TEL(03)502-2111

ご購入金額から頭金を差引いた金額が1万2千円から100万円までの場合日立のクレジットがご利用いただけます。

●商品のお問い合わせ、クレジットのご相談、カタログのご請求はお近所の日立の家電品取扱店へどうぞ。  
★日立カセットレコーダーで録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。★日立カセットレコーダーには保証書がついています。ご購入の際には必ず記入事項をご確認のうえ、お受取りになり、大切に保存して下さい。

# 小学生にハンドボールを!!

## ■ 県および、ブロック大会を! ■ 全国小学校大会を目ざそう!

去る、11月22・23日、別府市で開催された、九州地区小学校ハンドボール大会に、大会委員長の藤田八郎氏の懇請で、大会を視察する機会に恵まれた。

この大会は、ハンドボールのより良い普及と、より大きな発展のために、小学生にハンドボールを、県およびブロック小学校大会を、更に近い将来全国小学校ハンドボール大会を、との氏のかねてからの、大きな夢と理想の実現のための第一歩として、九州地区のハンドボール関係者の絶大なる協力を得て、昨年、第1回の開催へとこぎつけたのに続いて、今回は、第2回目の開催となったのである。

試合は、福岡、佐賀、熊本、大分県からの選抜チーム、男子7チーム、女子9チーム、三百人近くのチビっ子、マメっ子、テッカイ子の選手達と、その数に近い「ママ」さんの、熱烈な応援参加の中で行なわれた。

試合形式は、男子が、A・B・C・D・E・F・G・H・I・J・K・L・M・N・O・P・Q・R・S・T・U・V・W・X・Y・Z・AA・BB・CC・DD・EE・FF・GG・HH・II・JJ・KK・LL・MM・NN・OO・PP・QQ・RR・SS・TT・UU・VV・WW・XX・YY・ZZ・AAA・BBB・CCC・DDD・EEE・FFF・GGG・HHH・III・JJJ・KKK・LLL・MMM・NNN・OOO・PPP・QQQ・RRR・SSS・TTT・UUU・VVV・WWW・XXX・YYY・ZZZ・AAA・BBB・CCC・DDD・EEE・FFF・GGG・HHH・III・JJJ・KKK・LLL・MMM・NNN・OOO・PPP・QQQ・RRR・SSS・TTT・UUU・VVV・WWW・XXX・YYY・ZZZ

ナメント方式、女子は、A・B・C・D・E・F・G・H・I・J・K・L・M・N・O・P・Q・R・S・T・U・V・W・X・Y・Z・AA・BB・CC・DD・EE・FF・GG・HH・II・JJ・KK・LL・MM・NN・OO・PP・QQ・RR・SS・TT・UU・VV・WW・XX・YY・ZZ・AAA・BBB・CCC・DDD・EEE・FFF・GGG・HHH・III・JJJ・KKK・LLL・MMM・NNN・OOO・PPP・QQQ・RRR・SSS・TTT・UUU・VVV・WWW・XXX・YYY・ZZZ

試合時間は、子供達の、健康・安全管理と、子供同士、親同士の親睦を増すために、数多くのゲーム(負けたチーム同士のゲームを随時組めるような配慮もされていた)をとのねらいから、全て25分(10分・5分・10分)で実施された。

試合球は、ミカサとモルテンKが試作した、小学生用ボールを採用したが、大きさとい、重さとい、子供達や、多くの先生方に比較的好評のようだった。

試合内容は、県下のチーム数が多く、そこから選抜されて出て来た熊本勢の男女が、各ブロック予選でそれぞれ他県を圧倒していたが、決勝トーナメントに入り、女子の部で、地元別府市の明野西小学校のチームが、市長さんの激励に応えて一生懸命奮闘し、堂々熊本勢を破って、凱歌をあげて喜んでいた姿は印象的だった。

男子の部は、網田小と大江小の熊本勢同士の決戦になったが、網田小の監督の前田先生が、特殊戦法である、アサインド・ディフェンシブ(ゾーン・マンツーマン法)を敷き、これが効を奏して見事優勝へと導いた。

なお、この戦法時に、大江小のポイントゲッターである大田和君(身長170cm、体重53kg)に、網田小チーム一のチビっ子選手である西村君(身長150cm、体重27kg)、男女合わせて一番小さい)に、フェイス・ガーディング(びったりついて離れない防衛法)をさせたアイディアは、ユニークで面白く、見ている人達をも楽しませてくれた。

しかも、この小さな巨人のような西村君は、守備面だけではなく、攻撃面でも、すばしっこい動きで、相手をかかわしてシュートしたり、手にあまるボールを、片手だけでなく両手ででも巧みに操作して、味方に正確にパスする技術等は、ボールを片手で自由自在に扱うのが、ハンドボールの基本技術として考えられ、実践されている日本のハンドボール界の昨今にあって、あらためて、基本の技術について考える材料を与えてくれた程、貴重なプレーであった。

この他、チームのポイントゲッターである田中君(170cm、45kg)の1対1を、フェイントで破り、

1対1にしてシュートする戦術や技術、2対2を、2対1にするパスプレーの戦術的対応の仕方、小学生で、こんなプレーをと思わせるものがあつたし、又、GKの仲君の俊敏で、しかも堅実なゴールキーピングと、正確なロングパスによるワンパス速攻等の戦術的プレーは、ハンドボールの特性を生かした見事なものであつた。

以上、小学生大会を初めて観戦し、これから得た収穫の中で、一番大きかったものは、ハンドボール界の今後の歩みにとって、示唆を与えられたことである。

なにかんずく、現在、小学生にハンドボールが普及している県は、熊本県をはじめ、愛知県、岐阜県等、中・高校の普及に比べ少数県に過ぎない。

したがって、魅力あるこのスポーツを全県各地にまで高めるために、財団法人日本ハンドボール協会の組織機構の主要な柱である国民プロジェクトチームが、小学生普及対策のための重要な施策打ち出し、その方針と、具体的なプログラムに添って各県協会と、日本協会が、がっちりスクラムを組んで実行に移すことが、10年後の大きな飛躍につながる第一歩であるろう。

(北川勇喜)

### 「ハンドボール」

56年11月号(第22号)目次

小学生にハンドボールを……(1)

第36回びわこ国体 広島が

9年ぶり4回目の優勝……(2)

全日本学生選手権大会……(10)

第2回九州小学生大会

第13回全日本白衛隊

選手権大会……(15)

各地学生秋季リーグ戦……(18)

全日本女子6年ぶりの

ヨーロッパ遠征……(19)

各地の試合……(23)

【表紙写真】第36回びわこ国体の熱戦から

提供・スポーツイベント



# 第 36 回

## びわこ国体

滋賀県彦根市で10月13日〜18日まで開催された第36回びわこ国体は、成年男子・広島、成年女子・三重、少年男子・山口、少年女子・石川がそれぞれ優勝を飾った。特に、これまで8年連続優勝を飾り、今年九連覇を目ざしていた愛知(大同特殊鋼)が、準決勝で三重(本田技研)に敗れてしまい決勝進出すら果たせなかったのは大波乱であった。このため、宿敵同士の対決とならなかつた決勝戦は、広島(湧永薬品)が、姿な展開で三重を破り、実に48年の千葉国体以来9年ぶり4回目の優勝を飾った。

また、少年女子の部で優勝を飾った石川(小松市女高)は、これで春の選抜大会、インターハイに続いて高校界初の三冠王を達成した。

### <成年男子>

## 広島(湧永薬品)が9年ぶり4回目の優勝

### 小松市女高(少年女子)“三冠王”達成

#### △成年男子▽

#### ▽1回戦

長崎・佐世保 30 (1515 | 1510) 25 山梨・全山梨

○：長崎、山梨両チーム共に、速攻とフェイントプレー主体の攻撃で得点する、タイプのよく似たチーム同士の対戦で1点を争う好ゲームとなったが、長崎が前半のリードを守り、初戦をものにした。(奥田)

長野・全長野 33 (1617 | 1215) 27 京都・京都

○：大砲をおとりにディフェンスをひきつけ、ポストサイドで得点する長野に対し、ローリングからカットインと速攻しか得点できない京都。この大砲の差が勝敗を分けた。両チームともディフェンスのフットワークがいまひとつ。長野8番、京都4番の生きのいい動きが印象に残った。(森)

愛媛・新居浜 24 (1014 | 1115) 16 宮城・宮城

○：前半、愛媛のパスワークに宮城のディフェンスの動きが悪く加点された。一方、宮城は攻めても愛媛のディフェンスを破れず、愛媛ベースのゲームとなった。後半、宮城の攻撃リズムがよくなり反撃したが、時すでに遅かった。(中井)

福井・福井教員 32 (1814 | 1413) 27 沖縄・沖縄教員

○：前半、両チーム共甲乙つつけ

がたく、速攻、ポストプレーなどで着々と加点し、1点差でおえた。後半に入り、福井は速いパスワークから7番土本、8番谷口らのミドルシュートが決まり勝利をものにした。(北山)

山口・山岡 34 (1915 | 8) 16 富山・富山

○：山口は硬軟おりまぜた攻撃で、練習量の豊富さが感じられ、静岡は闘志がからまわりした凡ミスが目立ち、今一步の感があり、更に技術を充実させて試合にのぞんでほしい。(東)

石川・金沢市役所 28 (1513 | 8) 16 和歌山・和歌山

○：前半、石川は長身の2番、10番のロングシュート、あるいはポストへと着実に得点。和歌山も早い速攻からパス回しで得点、石川ゴールキーパーの攻守に再々のチャンスをつぶされた。後半も石川は相手チームのスタートミスをうまくつなぎ、着々と得点して勝った。

岩手・岩手教員 29 (1514 | 1214) 26 香川・香川

○：両チーム共、コンディション作りが大変であったが、わずかに岩手のまとまりが、後半に発揮され勝利に輝いたけれど、両チーム共よく洗練され、好ゲームであった。

兵庫・兵庫選抜 32 (1314 | 1114) 31 福岡・福岡

○：前半立ちあがり、両チーム共に固さが見られ、ベナルティの失敗やラインクロスで自らの得点機を失っていた。後半、始まって間もなく兵庫の4番浜田の退場をきっかけに福岡がベースをつかみ、15分過ぎに5点もリード、このまま逃げ切るかに見えたが、兵庫が必死に追い上げ、残り2分と同点、1分で逆転したが、福岡もねばりタイムアップ寸前27対27の同点に持ち込んだ。延長に入っても互に譲らぬ攻防を展開したが、兵庫がやや動きの無くなった福岡に1点差で逃げ切った。(野中)

高知・高知 22 (1111 | 13) 21 茨城・茨城

○：茨城、高知共パス、キックミスが多く、またラフプレーも多く凡戦であった。(大橋)

千葉・千葉教員 38 (2117 | 4) 9 山形・山形

○：千葉は速攻やロングシュートなどの多彩な攻撃で、前半からベースをつかみ得点を重ねた。一方、山形はキーパー釜石を要とする千葉の厚いディフェンスの壁を破ることができず、一方的な試合展開となった。(伊藤)

鹿児島・鹿児島 38 (2117 | 1110) 21 鳥取・鳥取

○：鹿児島はスピード、パワーテクニクに一日の長があり、セット攻撃、速攻で着々と加点した一方、鳥取は5番のロングとゴールキーパーの着実なキーピングで



善戦したが、力の差はどうしようもなかった。(吉田)

岡山・35(2015-11)19 北海道・岡山教員

岡山はベテラン瀬島を中心によくまとまり、攻撃面、守備面ともに北海道をうまわり、圧倒の一戦であった。(大原)

富山・33(1518-1312)25 福島・全富山

富山が早いパスワークと動きで終始リード、前半18対12で終了。後半開始から2点連取、その後一進一退を続けたが、速い動きとポスト攻撃、時折り見せるミドルなど攻撃全般に一日の長があり富山の順当勝ちと言えよう。(安芸)

神奈川・30(1511-16)22 奈良・全神奈川

奈良のセットプレーに対し神奈川の速攻で始まった。後半に入り、神奈川の体力が上まわり、最終的には奈良のスタミナ切れとなった。(森)

秋田・湯沢・50(2624-136)19 徳島・沼ノ口

秋田は一方的ゲームであったが、徳島はゲームを捨てず、最後まで健闘した。秋田のワンサイドゲーム。(安芸)

▽2回戦

広島・37(1918-14)2 長崎・清水薬品

広島は体力、技術共にひいていてはいるが、シュートミスが多く見られる。もう少し慎重にプレーをしてほしい。長崎も最後までよく健闘した。(大橋)

島根・27(1314-1012)22 青森・泉選抜

好調なスタートを切った島根が大差をつけて勝利を収めるかに見えたが、青森もよく反撃し、前半2点差で終る。後半に入り、足で優る島根が次第に差を広げ勝利を確実なものとする。(都梅)

長野・27(1710-11.9)20 大分・新長野

長野、大分共シュートが雑で、後半残り5分まではシートンゲームを展開したが、大分のシートミス、パスミスが続き、長野がそのチャンスを生かし、勝利を得た。(吉田)

埼玉・36(1917-12)18 愛媛・大崎電氣

愛媛、体的にも、技術的にも勝る埼玉の順当勝ち。前半苦戦した愛媛は疲れの出たところを速攻で加点され、点差が開く一方であった。(都梅)

滋賀・30(1713-15)11 福井・全滋賀

両チーム共、シュートミス、パスミスが目立ったが、体的、技術的に勝る滋賀が前半で大差にて勝負を決める。滋賀は後半、ディフェンスの荒さが出て、多くの退場者を出し、ディフェンス面での課題を今後に残すようだ。滋賀

群馬・24(1212-9)21 山口・あかぎ

前半、群馬はポストのコンピプレー、山口は11番大江の巧みなりードからの展開を白らのタイミングの良いシュートで得点、好ゲームとなった。後半に入って、両チームともに、強引に突っ込むラフなプレーが目立ち、一考を促したい。ゲームの方は終了5分前までもつれたが、最後はスピードにやや優る群馬が勝利をおさめた(森)

石川・金沢市役所・26(1610-7)14 佐賀・高知

立ち上がり佐賀もよく動き、パスをとったが、前半、中盤より石川の動きがよくなり、5番、2番のロングを中心に完全にペー2に乗り試合を決めた。佐賀のシュートの単調さが敗因である。(久保田)

栃木・35(1421-1211)23 岩手・栃木の葉

シュート力、ディフェンス共に上回る栃木の一方的なゲームであったが、岩手のはつらつとしたガッツのあるプレーは随所に好シュート、好プレーを見せてくれた。警告をとられて「スママセン」と言っ手の上げられる、激しいファイティングスピリットとともにこんなさわやかな気持ちを持ってプレーする選手に観衆の中から賞賛の声があつた。岩手の健闘

をたたえたい。(森)

三重・本田・30(1515-6)12 兵庫・田技研鈴鹿

走行方向を指示するようにパスを出すゲーム運びと相手に陣にパスをするプレーのゲーム運びの2通りのゲームがあつた。前者は本田技研であり、後者は兵庫選抜であった。組み立てられたプレーには観るものをひきつける楽しさがある。兵庫選抜に考えたプレーが少なかつたのは残念であつた(新井)

高知・35(1718-12)16 新潟・高知

スピードに勝る高知が速攻で着実に得点し、新潟を圧倒した。新潟はミスも多く、攻守に粘りがなかつた。(奥田)

千葉・29(1613-7)18 岐阜・千葉教員

同じタイプの両チームの対戦は、前半一進一退のゲーム展開となり、千葉やや優勢で前半を終った。後半、千葉は速攻とポストプレーで得点を重ね勝利を決めた。岐阜の反撃を期待したが、おぼなかつた。(幸田)

大阪・大坂・31(1318-11)16 鹿児島・大阪イグ

前半、鹿児島の出足がよく善戦したが、10分過ぎから大阪のリズムがよくなるとともに速攻、セットで加点し、大差がついて前半を終了した。後半鹿児島はよく

健闘したが、前半の失点が大きすぎ終了した。(中井)

東京・三陽商会・41(1922-9)21 岡山・岡山教員

東京の速いテンポの攻撃に対し、岡山はディフェンスできず、攻撃はハンドリング悪く一方的ゲーム内容で終る。岡山の4番佐藤の健闘がたたえられる。(岡村)

富山・全富山・29(1415-1512)27 富山・全富山

前半、両チームとも速いテンポのボールまわしよりサイドや中央から得点を重ね、一進一退のゲーム展開であつた。後半に入り、宮崎はポイントゲッター船木をマツノマンで守られたため、やや攻撃に精彩を欠くとともに、双方ともキーパーの好守にあい思うようように得点のびず、かろうじて2点差で宮崎が逃げ切つた。(伊藤)

神奈川・全神奈川・30(1614-9)15 熊本・全神奈川

得点の割には両チームともシュートミスが多く、わずかに神奈川の方に速攻でのポイントが勝利につながり、練習量の差があらわれたゲームであつた。(国村)

愛知・大愛知・42(2022-8)18 秋田・同特殊鋼

体力、走力、技術共に上まわる愛知が、堅いディフェンスからの速攻、ポストプレーと多様な攻撃で着々と加点。一方的なゲームとなつた。秋田もよく走り、何



とか得点しようとするが、愛知の高い壁にはばまれ、逆に速攻を許すかたちとなった。(野中)

▽3回戦

広島 35(2114-3) 6 島根  
 湧永薬品 31(1615-1210) 22 石川・金

○：島根には失礼だが、試合の興味は広島がどのようなすばらしいプレーを見せてくれるか。それに対し、島根がどこまで食らいつくかであった。広島はディフェンスをきっちりやり、オフフェンスも一つ一つプレーを確かめながらやっているような展開、対する島根も精一杯ぶつかっていったが、スピードもあまりよくなく、コンビネーションも単調で、広島の高い壁を破ることはほとんどできなかった。(川島)

埼玉 29(1217-109) 19 長野  
 大崎電気 28(1018-1312) 25 群馬  
 滋賀 28(1018-1312) 25 群馬  
 全滋賀 28(1018-1312) 25 群馬

○：両チーム共、立ち上がりミスが多く一進一退。早く本来のペースをつかんだ滋賀は前半6点差でリード、後半になっても滋賀はペースを守り楽戦を思わせたが、残り15分を過ぎ勝利を意識し、足が止まり点差が少なくなってきたが、

前半のリードで逃げ切った。栃木 31(1615-1210) 22 沢市役所

○：前半、両チーム共激しい動きでのスピードディフェンスが堅く、それを打ち破るだけのオフフェンスが石川にはなく、5点差にて栃木リードで終る。後半に入り、10分過ぎまで点の取り合いが続くが、栃木の攻撃力が上回り、セイフティリードとなる。石川も中盤過ぎより速攻がよく決まり、追いつけたが栃木のディフェンスを破れず終る。(秋山)

三重 34(1618-119) 15 高知  
 本田技研 34(1618-119) 15 高知  
 ○：三重は立ち上がりから速攻で連続3得点し、ゲームの主導権を握り、その後も堅実な守りからの速攻で点差を広げていった。後半に入って、高知の攻撃もよくなり、ポストをうまく使って得点した。しかし、スピードに勝る三重が最後まで手をゆるめず大勝した(奥田)

大阪 30(1614-117) 11 千葉  
 阪イーグ 30(1614-117) 11 千葉  
 ○：相互ともディフェンスが厚く、前半の得点の8割が速攻とベナルティで、わずかに大阪のディフェンスの読みがよくパスカットからの速攻で連続6得点でリードする。一方千葉は、セットオフフェンスからの得点をねらうが、スピードに

ドに欠け、チャンスをつかめなかった。大阪の1部リーグの経験、日頃の練習が勝敗を決めたゲームである。

東京 30(1416-1513) 28 宮崎  
 三陽商会 30(1416-1513) 28 宮崎  
 ○：前半15分までの三陽はコンプレッサーを欠き、位置どりプレー(Positioning)を多用したため、元気のある宮崎にカットされ速攻と善戦された。その後は総合体力に劣る全宮崎を振り切ることにしたが、プレー内容が改善された訳ではなかった。全宮崎は基本攻撃パターンは単純クロスコンビを忠実に実行したが、パワー不足で善戦ということになった。(新井)

愛知 33(1221-115) 13 神奈川  
 同特殊鋼 33(1221-115) 13 神奈川  
 ○：神奈川は前半5分まで速い動きで大同によくついていたが、その後は動き、シュートともに単調となり加点に苦しむ。一方大同特殊鋼(愛知)は蒲生、中本、柳川といったナショナルプレイヤーを中心に着々と加点する。特に蒲生、小野のコンビでの左サイドからのシュート(得点)はすばらしい。(東)

▽準々決勝  
 広島 30(1614-108) 18 埼玉  
 湧永薬品 30(1614-108) 18 埼玉  
 ○：スピード、テクニク、シュート等、さすがにトップクラスのチームのゲームは迫力がある。随所に思わず観客をうならせるす

ばらしいプレーが見られたが、反面、ディフェンスのラフなプレーも目につく。激しく、なおかつクリンハンドボールを目指してもらいたい。この点のみが惜しまれる。前半の広島はゴールキーパー福井のキーピング、埼玉の小兵長野のプレーが光った。(森)

滋賀 22(1210-111) 19 栃木  
 全滋賀 22(1210-111) 19 栃木  
 ○：前半、滋賀は栃木のシュートをゴールキーパーがファインプレーの連続でよく守ったが、攻撃面では、再三のノーマークシュートを失敗し接戦で終了した。後半も前半と同様の展開となり、1点を争う大接戦となったが、滋賀が地元の大声援にささえられ、からも逃げ切った。(中井)

三重 23(1013-119) 16 大阪  
 田研研 23(1013-119) 16 大阪  
 ○：前半、両チームとも当りの激しい守りと両ゴールキーパーの好守で、容易に得点できないゲーム展開となったが、速攻のうまさベナルティースローを確実にものにした三重がリードを奪い、後半も堅い守りで、激しくくいさがる大阪をおさえて逃げ切った。

(奥田)  
 愛知 29(1415-115) 10 東京  
 同特殊鋼 29(1415-115) 10 東京  
 ○：互いに相手を知りつくした対戦で、スピードとパワーに勝る愛知の一方的な試合であった。

# 大同特殊鋼



取締役社長 武田喜三

本社：名古屋市中区錦一丁目11-18(興銀ビル)  
 TEL名古屋(052)201-5111(大代表)〒460  
 支社：東京 支店：大阪

フットワークはフォーメーションから生まれます。  
だれが駆けても、

**シティは、スポーツマン。**

**ライヴ・ビークル  
「シティ」**

**HONDA®**



シティのいちばんライヴな遊び友だちです。  
トランクをガレージにしまった、  
モトコンポは、<sup>トランクバイク</sup>トラバイク。

**モトコンポ**





(大原)

▽準決勝

広島・本 35 (1916 | 6) 15 滋賀・大 15 (1916 | 9) 全滋賀

○：三笠宮崇仁殿下を御迎えして、地元滋賀が昨年の覇者、湧水薬品(広島)の胸を借りた。団体をめざして造り上げてきたチームプレーは、湧水のそれと大差はなかったが、膝の高さ、レベルより下方のボール操作が悪く、空中プレーでは成功したが、湧水がメンバールをおとし小型化するまではわずかに抵抗したにすぎなかった。

(新井)

三重・本 14 (8 | 7) 13 愛知・大 13 (6 | 6) 10 同特殊鋼

○：先手を三重がとる展開でゲームはおもしろくなった。愛知は立ち上がり、2本連続蒲生がPTをはずしたのが最後まで尾を引いた。後半に入っても、三重のゴールキーパー大畑は再三、再四好キープイングを見せ、ピンチを防ぎ20分までリードを守った。中井が入ってディフェンスの良くなった愛知は、じわじわ追い上げ22分には逆転。しかし、24分には三重が再逆転、1点差で逃げ切った。終盤はすばらしいカットインをみせた三重、三木松。またゴールキーパー大畑は偉大だった。(森)

▽3位決定戦

愛知・大 26 (1511 | 9) 17 滋賀・同特殊鋼 (8 | 8) 17 全滋賀

○：地元滋賀はよく健闘したが総合力に勝る愛知には歯がたたなかった。前半は互いにPTをはずすなどしたが、滋賀ゴールキーパーの好守で試合は盛り上がった。しかし、後半に入り愛知は、蒲生を中心にディフェンスを引きつけポストプレーを成功させて着々と加点して、大差で逃げ切った。(藤本)

▽決勝

広島薬品 20 (12 | 6) 10 三重・本 10 (8 | 4) 10 田技研鈴鹿

得00214101014340  
藤井川駒積本賀田上本本田  
島【井福津生穂藤志戸池松山原】

GK (審・新井)

FP (審・幸田)

PT (0) 20

【野畑松 藤井岡木野井橋屋本重】

本細大三佐喜豊佐矢玉高栗坂

得00100040000000

○：大きなタイトルのかかった試合では湧水、本田、大同の3者でベストスリーが固定化している状態であるが、湧水は大同を、大同は本田を、本田は湧水を苦手にしているような現状では、リーグ戦と違ったトーナメントであるだけに本田の劣勢は予想されていたが、余りにも予想通りのゲーム展開に決勝戦としての盛り上がり不足しかった。両チームの差は、ゴールキーパー福井を筆頭に防衛力の差が得点の開きになって、湧水が楽勝した一戦であった。(望月)

〈成年女子〉

▽1回戦

石川・本 31 (1516 | 1) 3 北海道・北国銀行 (1516 | 2) 3 室商OG

○：勝負は戦前から石川のものに見られたが、立ち上がり直後先取点はとったものの、10分頃まで4対1と3点しかリード出来ず、GKからのスローイングも悪く全体的にリズムに乗るのが遅かった。しかし、それ以後石川のペースとなり一気に加点、前半を16対1で終了した。北海道も横山をリードオフマンとして頑張ったが、実力の差はどうすることも出来ず、大差で敗れた。(藤本)

福島・本 19 (9 | 6) 15 大阪・ムネカタ (9 | 6) 15 コスモス

○：試合開始後、福島の前中心のセットプレーよりロング、ポスト攻撃と立て続けに加点、7分には5対0とする。一方大阪も福島島の堅いディフェンスにあい得点出来ない状態が続くが、中盤よりコンビにリズムが出て西山のロングシュート、サイドシュートと加点、20分に8対4と追いすがると、その後一進一退をくり返し前半10対6と福島リードで終了したが、クラブチームの大阪の善戦が目立つ。後半立ち上り大阪が奮起、速攻などで2点差に迫る。その後一進一退の接戦となるが、残り5分で福島の前攻が決まり出し、結局4点差で終了。大阪の健闘をたた

えたい。(秋山)

京都・本 30 (1713 | 5) 12 愛媛・京都ク (1713 | 7) 12 N L H O

○：京都は速攻とサイド攻撃により着々と得点を重ね、ほぼ試合を決定づけた。一方愛媛は、体力的にも劣り、シュート力も今一つなく、練習量の差があきらかに見えた。(幸田)

▽2回戦

熊本・本 30 (1911 | 8) 15 石川・立石電機 (1911 | 7) 15 北国銀行

○：攻守に勝る熊本は立ち上がり4連続得点し、その後も余裕をもってプレーをして確実に得点を重ね危げなく試合を運んだ一戦だった。(大原)

滋賀・本 34 (1717 | 9) 17 山口・県選抜 (1717 | 8) 17 徳山口

○：滋賀の活発な動き、及び速攻からのサイド攻撃が得点に結びつき、またゴールキーパーの守りが良く勝利を得た。山口はディフェンスの甘さが目立ち、動きも悪かった。(井上)

茨城・本 30 (1812 | 3) 6 福島・日本ビ (1812 | 3) 6 ムネカタ

○：茨城は攻守のきりかえがよく、守りでは腰が大変低くよくコースにたち、攻めでは速攻、セットとよく走り得点を重ねる。一方福島は、早い動き、パスワークも単調でチャンスをつかめず、逆に相手にパスカットからの速攻を許し大敗する。(旅)

三重・本 38 (1919 | 4) 6 京都・ジャスコ (1919 | 2) 6 京都ク

○：ママさんチームといえる京都は、実業団チームそれも日本リーグのトップを争うジャスコと対戦し善戦したが、実力、経験、練習量ともに及ばず大差の内容となったが、年齢的な点から京都の活躍は意義あることといえる。(光島)

▽準決勝

熊本・本 36 (1620 | 9) 18 滋賀・立石電機 (1620 | 9) 18 県選抜

○：日本リーグで覇を争っている立石電機と圧倒的声援を受けて頭張る地元滋賀県チームの対戦であるが、実力の差はいかんともしがたく、滋賀がどこまで健闘するかに興味があった。

しかし、滋賀の攻撃は良かったが、防衛の甘さをつかれ得点差を大きくあげられた。中でGKの好守がゲームの雰囲気盛り上げて見応えのある試合で終ったのは良かった。(望月)

三重・本 21 (12 | 6) 16 茨城・ジャスコ (12 | 6) 16 日本ビ

○：双方共同型のチームであったが、三重の攻防に機動性が大きく松下のコントロールが各所に光を見せ、シュートに対する意欲がなく、茨城はよく走り回ったがシュートにつながりが乏しく後半は迫らぬ実を結ばずに終わった。三重の全員の好守好走は目立つものがあつた。(光島)



▽3位決定戦

茨城・24(1410-11)19 滋賀・日本ビ

○：日本リーグのトップを争うチームである日本ビクターに対し

滋賀は五角にゲームを進め、前半はリードを保って終ったが、後半は後者揃いのビクターの突進力に息切れして5点差をつけられた。滋賀の健闘は讃えられてよい。

(光島)

▽決勝

三重・17(11-8)16 熊本・ジャスコ・6(1-8)16 立石電機

得00122060410003

重)本部下崎本山岡田里林沢

【三山矢辻松宮山横松若今若寺

GK (藤本 古田)

村山野原藤野田立永山枝園

熊)井栗畑桑近紀敷羽福喜是魚

得0006042040000

○：優勝のかかった熱のこもった雰囲気

に三重はやや固くなったか熊本の速攻に迫いつけず3点も

連取されてやや意外な感じだったが、4分若田のポイントによるや

く固さもとれ、日本リーグの再現のように1点差を争う一進一退の

攻防で優勝戦にふさわしい見応えのある試合となった。

熊本の5番紀野の動きと三重のGK矢部のペナルティの好守は

ゲームを見応えある内容とした。(望月)

16 (5) PT (6) 17

〈少年男子〉

▽1回戦

兵庫・21(1011-7)14 秋田・兵庫・10(1-7)14 湯沢高

○：兵庫は中距離シュート、秋田は1対1の個人技の切れで互いに

点を取り合うゲーム展開を示したが、中頃からセットオフエンス

の比べあいの様な内容となる。結局シュート力の差で兵庫の勝とな

るが、兵庫のシュート力はFP全員にムラがなかったことが勝因といえよう。

東 京・27(1314-1110)21 愛知・都選抜

○：出足、早いパスワークからの攻防もミスが多く、キーパーの

好守が光る。7分過ぎより両チームラックスし、着実に得点シー

ソーゲームを展開、二進一退が続く。東京は10番のロング、7番の

速攻がよく決まり、また他のクロッサーも終始よく動く。一方愛知

は、2番、7番のロングで応戦するが、サイドシュートが弱く苦杯

を喫す。大阪・24(1311-4)10 愛媛・府選抜

○：最初両チームとも歯車がかみ合わず、攻防が続いたが、大阪

の10番の長身を利したジャンプシュートが決まり、着々と得点を加

える。特に走り込んでの左右のサイドシュートが決まった。愛媛は

何故かパスミスが多く敗退した。

(井上)

▽2回戦

富山・24(1212-7)14 兵庫・水見高

○：富山は速攻、セットプレー等で確実な得点したのに対し、兵

庫は凡ミスの連続、気力もなく敗れた。富山のGKの巧守、9番の

プレーが光った。(北山) 北海道・21(14-12)20 滋賀・道選抜

○：滋賀は、開催地の固さが前半10分過ぎまで続いたのが最後まで

でひびき、惜しい1点差のゲームとなる。北海道は11番の武田のロ

ングを中心によくまとまり、熱戦といえよう。(森)

福岡・20(9-11)19 東京・福選抜

○：両チーム共早いテンポで好試合を展開、東京10番大木、福岡

4番三幸、6番浜口等の対戦となり、最後までつれたが終了30秒

前福岡が劇的な勝利ポイントをおげた。(北山)

山口・25(1213-11)20 大阪・山選抜

○：技術、チームにまとまりのある山口が随所にファインプレー

を展開、追いつがる大阪を振り切った一戦であった。

▽準決勝 富山・21(107-107)20 北海道・水見高

○：前半北海道は気楽にゲームをしたのに対し、富山は固さが目

立ち同点のまま後半に入る。後半に入って富山も固さがほぐれ、後

半終了5分前に同点とし延長にもつれ込んだ。延長でソーソーゲー

ムが続いたが、富山GKの再々にわたるファインプレーに北海道は

敗れた。山口・25(187-1012)22 福岡・山選抜

○：前半、山口が再三の得点チャンス

を福岡のGKの好守に阻まれ、差が5点となって終了。後半

福岡の浜口をマーク、15分に同点としてから攻撃に味が出て逆転、

そのまま勝利を手中にした。イン

ターハイに優勝している自信が勝

因といえよう。(岡前)

▽3位決定戦 福岡・29(1613-1210)22 北海道・山選抜

○：前半福岡は準決勝ほどの気がなく

単調な攻めだったが、後半4番三幸が3連続得点、その後

も一方的に点差を広げた。北海道もよく走り頭張ったが、力の差は

どうしようもなかった。(北山)

▽決勝 山口・34(1816-1012)22 富山・山選抜

○：決勝戦にふさわしいスピードとテクニクで試合開始からソー

ゲームをしたのに対し、富山は固さが目立ち同点のまま後半に入る。後半に入って富山も固さがほぐれ、後半終了5分前に同点とし延長にもつれ込んだ。延長でソーソーゲー

ムが続いたが、富山GKの再々にわたるファインプレーに北海道は敗れた。

山口・25(187-1012)22 福岡・山選抜

○：前半、山口が再三の得点チャンス

を福岡のGKの好守に阻まれ、差が5点となって終了。後半福岡の浜口をマーク、15分に同点としてから攻撃に味が出て逆転、

そのまま勝利を手中にした。イン

ターハイに優勝している自信が勝

因といえよう。(岡前)

▽3位決定戦 福岡・29(1613-1210)22 北海道・山選抜

○：前半福岡は準決勝ほどの気がなく

単調な攻めだったが、後半4番三幸が3連続得点、その後

も一方的に点差を広げた。北海道もよく走り頭張ったが、力の差は

どうしようもなかった。(北山)

▽決勝 山口・34(1816-1012)22 富山・山選抜

○：決勝戦にふさわしいスピードとテクニクで試合開始からソー

ゲームをしたのに対し、富山は固さが目立ち同点のまま後半に入る。後半に入って富山も固さがほぐれ、後半終了5分前に同点とし延長にもつれ込んだ。延長でソーソーゲー

ムが続いたが、富山GKの再々にわたるファインプレーに北海道は敗れた。

得0052202212800 中下 打木本山石 内森 富山 森 椋吉山西大 魁林 鳥大

GK (藤本 古田)

山口 中木木永 田木本村 濱口 西谷 香相青松 岡 前山橋中大

得0010101020200000 0000

○：国体開始式後の第1戦という緊張した雰囲気

に両チームとも固さが見られ、凡ミスの繰り返しが

多く不本意な立ち上りだったが速攻で得点を重ねた

和歌山がやや優勢のうちに前半を終った。後半

開始後ペナルティで同点とした沖繩に盛り上りを感じさせたが、和

歌山もすぐ返し、1点差を争う好ゲームとなったが、和歌山の実力

が一枚上だった。両チームのGK健闘が光った。(望月)

滋賀・18(11-4)7 愛媛・新居浜市商

○：開始1分過ぎに得点をあげた滋賀は、落ちつきが出たか選

手の動きも軽く愛媛の攻撃を早めのディフェンスでつぶしたため

愛媛の攻撃が単調となり、キヤッチ

したのに対し、富山は固さが目立ち同点のまま後半に入る。後半に入って富山も固さがほぐれ、後半終了5分前に同点とし延長にもつれ込んだ。延長でソーソーゲー

ムが続いたが、富山GKの再々にわたるファインプレーに北海道は敗れた。



ミス及び単調なシュートが目立ちそれを得点に結びつけた滋賀が11対3と大差をつけて前半を終了。後半に入り、滋賀は前半のリードの余裕から攻撃が単調となり、一進一退の状態となったが、前半のリードで勝利を握った。(吉田)

秋田・小 18 (5-11) 8  
大曲農高 22 (1-1) 16  
山梨・県選抜

○：山梨は前半5分で5対1とリードしたが、6分頃よりパスワークが乱れ追加点をあげることが出来なかった。その間、秋田は速攻、ベナルティ等4本のチャンスをもたに出来ず、山梨の3点リードで前半終了。秋田は後半開始3分で4点を連取一気に逆転したがその後一進一退で延長戦となる。延長に入ってから両チーム共同さが目立ったが、速攻をもにした秋田が勝利を収めた。(中山)

▽2回戦

石川・小 14 (7-7) 3  
松市女高 7 (1-4) 7  
和歌山・粉河高

○：前半石川のペースでゲームは進んだが、後半和歌山は思い切った攻撃で石川のペースを崩し、緊張した試合となった。しかし、残り5分石川はキャプテン藤田が強引に飛び込みシュートを決め再度小松のペースとして試合は終了。(中山)

愛知・20 (13-7) 3  
県選抜 6  
広島・県選抜

○：愛知は広島のスレットミスを速攻につなぎ、サイド攻撃及び鋭いカットインで広島のディフェンスを破り得点を重ねた。後半に入っても愛知のスピードは落ちず着々と得点をあげる。それに対して広島は横の動きが多く、攻撃が単調となる。愛知のディフェンスにつかれ、カット並びにパスミス等で速攻に繋がれ一方的なゲームであった。

滋賀・11 (6-2) 6  
北海道・道選抜

○：国体目ざして鍛えられた滋賀と身体の大きい北海道との対戦で興味をそそられたが、北海道の動きの鈍いプレーで滋賀のワンサイドになり凡戦となった。勝った滋賀もキャッチミス、シュートミスが目立ち、地元の声援に応える好プレーは見当らなかったことは明日の対戦へ大きな課題を残した。(望月)

秋田・大曲農高 16 (9-1) 8  
熊本・県選抜 14 (7-1) 6

○：試合終了3分前まで勝負の決まらないシソーゲームであったが、そのわりに盛り上りは少なかった。熊本は10番のロングで追いつけば秋田は2番のロングで引き離し、追いつ追われつたが、秋田は5番、7番の巧みなプレーで最後振り切った。(藤本)

▽準決勝

石川・小 15 (6-7) 10  
松市女高 9 (1-3) 3  
愛知・県選抜

○：石川はスピードあるセットオフエンスをよく活用して愛知のディフェンスの間隙を崩し先行したが、愛知はGKの大胆なパスアウトによる速攻が奏効し、一時期先行した。後半石川のセットオフエンスはますます冴えをみせ、15分には安定リードを奪い、愛知の再三にわたる追撃を振り切って勝利をものにした。(光島)

滋賀・16 (5-1) 7  
秋田・大曲農高 3 (0-0) 6  
14

○：最初から攻防はげしくエキサイトした展開で、前半は秋田の防禦が堅くリードで終ったが、後半になり滋賀が地元の声援を背に受け、よく動き同点に追いついて延長になる。延長後両チームとも落ちついたプレーをしたが、力以上のものを発揮した滋賀チームの勝利であった。(井上)

▽3位決定戦

愛知・18 (11-7) 12  
秋田・大曲農高 7 (1-5) 5

○：17分まで互角の点の取り合っていたが、前半終了間際4点連取した愛知がゲームの流れを自分のペースにした。後半はペースに乗った愛知が着々と点を重ね大きく差をつけて余裕をもって勝った。(望月)

▽決勝

石川・小 14 (5-1) 0  
松市女高 9 (1-3) 3  
滋賀・県選抜

○：この大会にそなえ練習を積んできた滋賀だが、石川の前ではどうにもならなかった。ベナルティスローをすべてキーパーにはばまれ、後半の追い上げが見られるかと思っただが最後まで石川のペースで終った。(森)

石川・小 14 (3) PT (0) 3  
得0001010000001  
得0021100062011



**うちのエース、背番号50。**

基本に忠実な選手ほど、臨機応変に動けるものです。基本性能に優れたメカがフォーメーションを組んだ、ビクターのカラカセ50。〈見る・聞く・録る〉を一台でやってくれるマルチプレーヤー。カラーになった1機3役メカです。

カラーテレビ・ラジオ・カセット  
**カラカセ50**  
CX-50 標準価格110,000円  
(アンテナ・工事別)

●ビクターへのお問い合わせ、カタログ請求は〒160東京都千代田区霞が関3-2-4霞山ビル日本ビクター(株)インフォメーションセンター (TEL東京 03-580-2861)へ ●あなたが録音したものは個人として楽しむもののはが、著作権法上、権利者に無断で使用できません。

Victor JVC  
日本ビクター株式会社





## いくつかの 勝利をかさねて、 神話が生まれた。

世界のビッグゲームで、幾多のドラマを生んできたアディダス「ハンドボールウェア」。スポーツ科学に裏づけされた機能性。むだな飾りを排したアクションのためのデザイン。だから、鍛えぬかれた肉体であるほど、それは美しい。

アディダスハンドボール専用ウェア

**adidas**<sup>®</sup> <sup>®</sup>  
HANDBALL WEAR  
PRODUCED BY DESCENTE UNDER ADIDAS LICENSE

**molten**<sup>®</sup>



MTH3 検定球3号  
●検定球●天然皮革



ごらんください。独特のリブ形状とパネル間段差。この“32面体ノンスリップ構造”で確かな手かかりをつくり出したモルテンハンドボールは、さらにナイロン糸巻構造をほどこし、すばらしい耐久性、真球性をも実現して、日本ではじめて国際ハンドボール連盟(I.H.F.)公認を獲得。ハンドボーラーの圧倒的な人気と信頼を集めています。

●日本ハンドボール協会検定球(J.H.A.)  ●国際ハンドボール連盟公認球(I.H.F.) 

# 「手がかかり」が見えた!

独自の32面体  
ノンスリップ構造で、圧倒的人気を誇るモルテンハンドボール

**モルテン**  
**ハンドボール**

モルテンコム工業株式会社  
本社 広島市西区横川新町1番8号 733  
☎(082)292-1381(代)



# 全日本学生選手権大会

## 男子・中大、女子・日体大が 共に5年ぶりの優勝を飾る

全日本学生選手権大会（男子24回、女子17回）は、11月17日から21日までの5日間、東京駒沢屋内球技場、駒沢体育館などで開催された。  
男子の決勝戦は、中大と日体大で闘われたが、史上初の延長戦となる熱戦の末中大が5年ぶり3回目の優勝を飾った。  
女子は、関西勢として初の決勝進出を果たした武庫川女大の挑戦を受けた日体大が、故障者が多く苦戦したが、よく振り切って5年ぶり11回目の優勝を飾った。

### 男子

#### ○1回戦

京都産業 21(1011)11 20 慶応義塾大

○：ロング、フェイント攻撃の京産に対し、サイド攻撃の慶応で白熱したゲームが行なわれたが、シュート力に勝る京産が慶応の追撃を振り切って勝利を治めた。  
(清水)

東海大 25(9)9 15 山口大

○：総合力に勝る東海大の順当勝ちであるが、共にパスミス等が目立ち凡戦であった。東海大の走り込んでからのロングシュートには見るべきものがあつた。山口大は全体に攻撃がディフェンスに近すぎて、シュートを打ちあぐんで

いた。(菊地)

函館大 30(1614)12 21 鹿児島大

○：前半、鹿児島にパスミスが多く、相手の速攻につなごうとしたが、それが攻撃が単発的でボールを保持している時間が少ない。後半、函館大はサイドからの得点で差を広げ、ディフェンスに荒さのある鹿児島大が退場者を2人も出し、個人プレーで迫ったが間に合わなかった。(菅野)

筑波大 32(1814)14 21 名城大

○：立ち上がり、エース西山を個人マークされて球が中島に集まる筑波に対し、名城は林、立木を中心とした豪快な攻撃を見せ、8-4と開いた。しかし、名城1人

退場の間に波に乗った筑波がギリ追い上げ、同点となった後は一進一退の展開で14-14で前半を終った。後半に入り、ディフェンスの良くなった筑波に名城は10分まで無得点。この間に筑波は個人マークの西山をフリースローなどからうまく使って19-14と一気に開き、試合を決定した。(佐藤)

国士館大 25(1312)11 20 大阪経済

○：立ち上がり5-1、国士館のリードで一方的かと思われたが大経大の善戦で好ゲームとなった。しかし、大経大も今一歩、後半15分で力をつきた。

久留米工 29(1712)10 22 茨城大

○：両チーム共に決め手が無く

茨城大の速攻が2本続き、ここでペースをつかむかに見えたが、久留米工大もよく頑張り前半12-12の同点で終了する。後半、久留米工大が檜原のスタンディングシュート2本でリズムをつかみ、2回戦に進出。(半田)

福岡教育 32(1715)11 21 信州大

○：福岡教大は林田のフェイント、堀の速攻で若い信州大を振り切るとうとした。高さに勝る信州大ではあったが、パスミス、キックミスを出し、破壊力のあるロングシュートを生かすことができなかった。国立大学同士の戦いは結局福岡教大に軍配が上がったが、1、2年に好素材を持つ信州大の今後に期待したい。(岩本)

早稲田大 31(1615)7 16 福島大

○：地方に勝る早稲田大が福島大を圧倒した。両チームとも雑なプレーが多く大味なゲームとなったが、福島大が最後まで積極的なプレーをし早稲田大を悩ませた。  
(清水)

○2回戦

中央大 36(2016)10 19 京都産業大

○：中大の速い動きとパスワークに京都産大のディフェンスがついて行けず、時間と共に加点され中大の一方的なゲーム展開となった。(青木)

東海大 30(1515)12 29 中部工業大

○：点数の取り合いで、両方ともディフェンスが甘く、少差のうちに凡戦であった。(菅野)

日本大 27(1215)8 14 函館大

○：前半、早いつめで堅い守りの日大に付し、函大はミスが続き攻めきれない。日大は相手のミスにつけ込み着々と加点、セットにおいても速いパスで相手をゆさぶり、サイド等から加点、大差がついた。後半に入っても函大はリズムにのれず、前半同様日大に押しきられた。攻守の差のありすぎたゲームであった。(加藤)

筑波大 31(1516)11 20 同志社大

○：松ヤニ使用によるリーチの長さでジャンプの高さをいかした個人プレーの応酬は、ディフェンス技術の悪い同志社大の負けとなった。終始2人までのコンビプレーしか行なわず、全体としての組織プレーを見せなかった両チームにどんなプレーが隠されているか次のチャンスに期待したい。(新井)

日体大 22(13)11 19 国士館大

○：両チーム共、早い展開からカットインシュートを狙い激しい攻防を繰り広げた。スピード、体力に勝る日体大が最初有利に試合を展開したが、キーパー矢内の活



躍とディフェンスの立ち直った国士館が追い上げ、1点を争う好ゲームとなった。後半、ボールキープ力のある国士館がよく頑張ったが、地力に勝る日体大が要所でポストプレーを決め試合を決定した(仲尾)

中京大 28 (1612 | 104) 14 久留米工

○：立ち上がり、中京大は久留米工大 183 三川、180 杉原と言った高い壁にとまどって、8分間程両チーム得点のないままに経過したが、中京大 4 番山岸が先取点を決め得点がスムーズに流れ、前半 12 | 4 と大きく差を開き勝負を決定づけた。後者も中京大は有利な得点差で伸びのびとプレーし、着々と加点して楽勝した。(望月)

法政大 33 (1518 | 1112) 23 福岡教育

○：両チーム共に速攻にスピードが無く、速攻からの得点率は少ない。セットオフフェンスによる得点が主体と見られる。特に福岡教大は 2 | 4 攻撃でのポストとの連携が悪い為はその差が得点差である。両チーム共にスピード力を持った試合展開の習得が必要である。また、勝者の法政は次の試合も同じ展開を行えば苦戦が予想される。(高野)

早稲田大 25 (1114 | 1110) 21 大阪体育

○：ベスト 8 に関西学連チームが一つでも進出できるかどうかを

かけて、関西ナンバード大体系が早稲田と走り合った。走方は五角であったが、得点を取るシュートのパワーと正確さで早稲田が勝りディフェンスでも早稲田はシューターにダブルで対応したのが効果的で、ゴールキーパーの好守と合まって勝利を得た。(新井)

○ 3 回戦

中央大 40 (2218 | 109) 19 東海大

○：インカレ優勝候補の中大と関東リーグ 2 部優勝校の東海大では優秀は初めから予想されていたが、出足に東海大が 3 点連取して優位に立ったので、これほどと思わせたが、結局は横綱と十両力士の試合になってしまった。しかし、若さに溢れた東海大のきびきびしたプレーで最後まで健闘したことは、これからの東海大成長が期待できる楽しみを残してくれた。(望月)

(望月)

筑波大 22 (1012 | 116) 17 日本大

○：前半、早々 4 連続得点を上げた筑波大が、ゴールキーパー野田の好守に再三助けられながらもリードを保ち、勝利を収めた。日大は西山にマンツーマンを付けて互角の戦いをしただけに、前半早々の失点が痛かった。(清水)

日本体育 23 (716 | 9) 13 中京大

○：日体大の勝利に終わったが、得点差程の技術的な力量差はな

った。結局は高さ、日体大の厚いディフェンスの壁を打ち破れないまま中京大は敗退した。学生らしく最後まできびきびした好ゲームであった。(岡本)

早稲田大 23 (149 | 810) 18 法政大

○：両チーム共、ゴールキーパーの好守とクリーンなプレーとで引き締った試合となった。常に 1 点を先行した法政であったが、後半 10 分から 22 分まで得点できず、その間、早稲田はミスにつけ込んで着実に得点を重ね、逆転勝ちをおさめた。(岩本)

法政大 24 (915 | 109) 19 東海大

○：法政の多彩な攻撃に対し、東海は福士を軸にねばり強く攻めたが法政の速攻を許し、前半の点差が縮まらず法政が逃げ切った。(浅田)

日本大 21 (1110 | 7) 13 中京大

○：日大は堅い守りで中京の足を止め快勝した。中京は後半、開始後の追い上げのチャンスに速攻ミスを重ね、リズムに乗れないままに敗退した。(岩木)

○ 5 位決定戦

日本大 22 (1111 | 7) 16 法政大

○：4 年生のレギュラーをはずした法政に戦力ダウンが見られ、セットオフフェンスから得点ができず苦しい展開となった。一方、日

大もパスミス等が要所所で見られ、一気につき離すことができなかった。結果として総合力のある日大が勝ったが、ミスが目立ちつまらない内容の試合であった。(菊池)

○ 準決勝

中央大 23 (1211 | 7) 19 筑波大

○：互いにフォーメーションからのセット攻撃による得点で、見ごたえのある試合であった。中央の攻撃は個人の力が平均しており得点も分散していた。筑波の攻撃は 2 番、3 番の選手にかざられ、その差が得点にあらわれたと思われる。(菊池)

日本体育 19 (109 | 9) 18 早稲田大

○：両者とも今一つ攻めに鋭さを欠き、また、ディフェンスで氣迫を見せ、少得点の一進一退の展開で 9 | 9 で前半を終った。後半、立ち上がり連続 PT で 2 点差をつけた日体大に対し、早稲田は 10 分過ぎから一気に攻め、逆に 2 点差をつけてムードに乗った。しかし終了 5 分前、早稲田一人退場の間に日体大は追いつき、2 分前逆転ゴールを決めて守り切り、からくも勝利をおさめた。(佐藤)

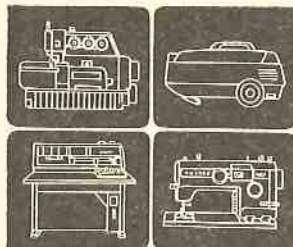
○ 3 位決定戦

早稲田大 21 (147 | 1010) 20 筑波大

○：速球王西山を擁する筑波も全員攻撃の早稲田の総力のま

## ミシンから... エレクトロニクスまで

工業用ミシン・家庭用ミシン・電子機器  
編機・家庭電気製品・縫製付帯機器



# ジューキ

東京重機工業株式会社

営業本部 東京都新宿区歌舞伎町23  
電話03(203)8241(大代表)



敗れ去った。(新井)

中央大 26 (11-12) 8 日本体育 3 (1-2) 23 大

○：秋の関東リーグの引き分けに決着をつけた決勝戦、中大はロング、日体大は速攻と両チームの持ち味を生かした試合展開であった。結局、勝敗は延長に持ち込まれたが、中大は実方の活躍で混戦に決着をつけた。まさに、インカレ決勝にふさわしく死闘の10分の激突のゲームというべきか。(岡本)

女子

一回戦

日本体育 30 (13-15) 5 山口大

○：総合的に勝る日体大の一方的な試合であったが、山口大も最後まで良く頑張った。(浅田)

中京女子 22 (12-14) 7 東海大

○：セットから攻撃力のない東海大に対し、中京女子大は堅いディフェンスから相手のミス誘い速攻による得点を重ねた。中京女子大はセットからもよくシュートをはなち、東海大を圧勝した。

菊池

東京女子 12 (3-12) 6 中京大

○：前半、内容的には押しぎみの中京大はチャンスでキャッチミ

スを連発し、加点できなかったのがひびいた。一方東女体大は、後半の一線防御が奏効し、中京のリズムを狂わせ勝利を得た。力の入った好ゲームであった。(岩本)

福岡教育 21 (13-16) 12 千葉明德大 (8-16) 6 短大

○：千葉も長く持ち味を出し得点を上げたが、地方に勝る福岡教育が着実に得点を上げ勝利をおさめた。(清水)

筑波大 22 (11-13) 6 大阪教育

○：筑波大が攻守共に大教大を圧倒し勝利をおさめた。大教大も積極的にプレーをし、得点を上げ、善戦と言えるであろう。(清水)

大阪体育 21 (9-10-3) 3 岩手大

○：岩手は小粒ながら、きびきびした動きで良く闘ったが、結局、大体大の脚が勝った。速攻がよく決まり、特に12点を上げた池上の活躍が目立った。しかし、大体大はミスも目立ち、今後に不安をいだかせた。

日本女子 18 (10-11) 4 福岡大

○：立ち上がりから速攻、速攻と得点を重ねてゆく日女体大に対して、福岡大は力に勝る日女体大の厚いディフェンスを破る手だてがなく、前半はペナルティスローによる1点を得ただけであった。後半に入っても点差は広がるばかりで、日女体大が18-4で初戦を

ものにした。(後藤)

武庫川女 17 (13-3) 9 東京学芸大 (4-16) 6 大

○：学芸大は短いパスでつないだセットプレーで良く走るが、ミスが目立ち白滅した。武庫川は速攻を軸によく走りロングシュートを決め大差をつける。

二回戦

日本体育 32 (16-18) 11 中京女子

○：中京女子大はセットオフエンスでの攻撃を繰り返すが、日体大のディフェンスが堅く決めることができな。一方、日体大はカットプレー、ゴールキーパーからの速攻を着実に決め得点を重ねた。しかし、中京女子大のポストプレーを有効に使い得点を得ている。総合的には実力差が出ていた内容である。(高野)

東京女子 24 (15-7) 15 福岡教育

○：両者ミスが多く、遅攻多彩な東女体大が初めリードしたが、前に出るディフェンスからの速攻で福岡教大も追い上げ、9-8で前半を終えた。しかし、後半に入ってディフェンスのよくなった東女体大を福岡教大は攻め切れず、10分まで16-8と東女体大が一気に離して勝負を決めた。前半セット割にはミスの多い、内容の低い試合だった。東女体大の退場者4人は問題がある。(佐藤)

筑波大 21 (15-7) 13 大阪体育 (6-16) 6 大

○：戦評なし。

武庫川女 13 (10-6) 12 日本女子 (3-16) 6 体育大

○：前半は武庫川がサイドでのフォーメーションによる得点分だけ差をつけるが、技にセットからのロングシュートには決定力がなく、速攻の応酬となった。後半、動きの鈍くなった武庫川大に対し、日女体大はキーパーの好キープに助けられ一時同点とした。しかし、セットからの決定的なシュートが出せず、武庫川に速攻を許し、逃げ込まれた。(菊池)

準決勝

日本体育 23 (14-4) 10 東京女子 (9-16) 6 体育大

○：FPの膝へのテビングが12分の8の東女体大と12分の2の日体大では走力、跳力に差がでるのは当然である。攻めあぐねた末のシュートをカットされて速攻に続けられ、走り負けでは、ディフェンスでの棒立ちスタイルも当然かもしれない。準決勝とは思えない大差ゲームであった。(新井)

武庫川女 16 (8-6) 11 筑波大 (8-5) 5 大

○：武庫川はスピードのある展開からよくボールを回し、少ないチャンスを積極的なシュートでものにした。これに対し、筑波は消極的なプレーからシュートミスを繰り返して、武庫川の速攻を受けて

しまった。キーパーの好守と武庫川の積極的な速攻からのシュートで思わぬ大差となった。(清水)

○3位決定戦

筑波大 19 (10-4) 17 東京女子 (9-13) 17 体育大

○：終始リードを奪った筑波大が東京女体大の追い上げを余裕を持って逃げ切った。(岩本)

決勝

日本体育 18 (8-6) 13 武庫川女 (10-7) 13 大

○：武庫川はスピードのある積極的な攻撃で日体大を苦しめたがゴールキーパー高倉の巧守にはばまれ、得点を上げることが難しかった。これに対し、日体大は多彩な攻撃から確実に得点を上げ、思わぬ差をつけて日体大が勝利をおさめた。(清水)







この看板のお店でご相談ください。

滋養強壮・虚弱体質に

●にんにく抽出エキス・ビタミンB<sub>1</sub>、肝臓分解エキス・ビタミンB<sub>6</sub>、製剤

# キョーレオピン

●朝鮮人参・麴香・牛黄・ビタミンB<sub>1</sub>、にんにく抽出エキス製剤

# レオピンファイブ

# 週に一度は スポーツを



健康づくりは毎日の快眠・快食から…  
それに適度なスポーツも欠かせません。  
私達は皆様の健康を願って  
薬品づくりに努めます。

**湧永薬品株式会社**  
本社 于553 大阪市福島区福島3丁目1番39号  
TEL (06) 458-8901

中央研究所 于729-64 広島県高田郡甲田町大字下甲立1624  
広島工場 TEL (082645) 2331

# ハンドボールの 技術と戦法

ヨアン・クンストゲルマネスク著  
木野実、杉山茂監修／中村一夫訳  
A5判上製／定価2900円

現代最高の理論家でルーマニアの  
ハンドボールを世界一にした著者  
が、一流選手の写真と豊富なイラ  
ストで詳説。技術・戦術書の決定版。

■スポーツ入門双書■

## ハンドボール

宇津野年一著／B6判／定価500円  
チームプレーに発展する  
前段階のハンドボールの基礎技術  
をわかりやすく解く入門書。

■スポーツルールハンドブック■  
ハンドボールルール・  
ハンドボールハンドブック

安藤純光著／新書判／定価480円  
初心者にも完全に理解できる明快  
な解説。選手、及び審判の実務に  
たずさわる人々にとって格好の書。

# ハンドボール教本

宇津野年一著

A5判／定価600円  
パス、ドリブル、シュートなどの基  
本技術から、攻撃、防御の応用までを写真と図解で指導する。

## 最新ハンドボール技術 《防御編》

宇津野年一著

A5判／定価850円  
近代ハンドボールにおける防御の重  
要性を強調。守りを固くして強くなるというチームに最適。

## 最新ハンドボール技術 《攻撃編》

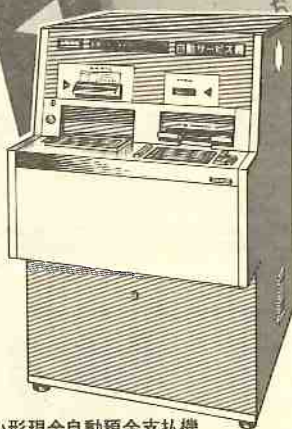
宇津野年一著

A5判／定価1300円  
個人的攻撃能力とチーム攻撃法に  
分かれ、それぞれ基本的な技術、練習法を詳しく解説する。

〒101 東京都千代田区神田錦町3-3 **ベースボールマガジン社** ☎03(291)7901



テーマは「人間と機械」  
**OMRON**



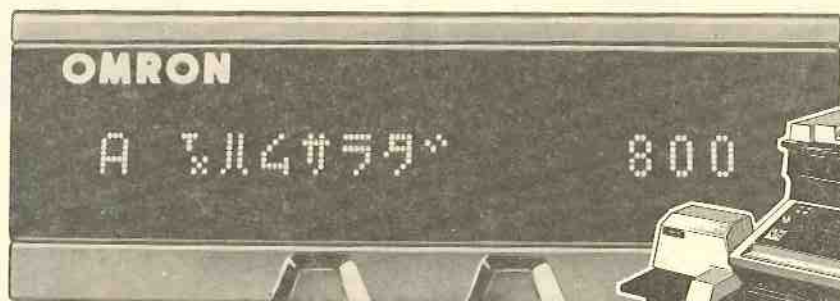
OMRON小形現金自動預金支払機  
預金・支払・画替・記帳・残高照会…など、  
目的にあわせて、CRTでわかりやすく操作案内。  
だれもが間違いなくスムーズに使いこなすことができます。

# 人間と機械との対話。

機械化、無人化がすすみ、人間と機械との関わり合いが深まるにつれ、より扱いやすく、より親切な機械の開発が望まれてきました。目から、耳から、人間との対話をはかろうとする試みが、  
それです。

すっかりおなじみになった銀行の機械化コーナー。そこでは、CRTを採用した操作案内で、きめ細かなメッセージをおとどけしている支払機や預金機が。レスタランでは、表示・レシートをもカナ文字ででてくる電子レジスタが…。

このように、オムロンは、人間と機械との対話を推し進めながら、その新しい歴史をつくっています。



OMRON電子レジスタ591-IRC  
価格だけでなく、カナ文字で品名も表示、  
さらにレシートにも同じカナ文字で印字。  
明瞭で気持ちよい会計が行えます。



立石電機株式会社  
〒616京都市右京区花園土堂町10  
TEL.075(463)1161大代



■ 第2回九州小学生親善ハンドボール大会

男子の部、熊本県代表・網田小学校  
ハンドボールクラブ優勝

女子の部、大分県代表・明野西小学校  
ハンドボール少年団が優勝

この大会は、11月22・23日の両日、別府の青山高校グラウンドと体育館で開催された。

参加チーム男子の部は、熊本県から、網田小ハンドボールクラブ、走潟ハンドボールクラブ、大江小ハンドボールクラブ、宇土花園ハンドボールクラブ、三田川花園ハンドボールクラブ、福岡県から、ブリヂストンスポーツ少年団、佐賀県から、神埼町ハンドボール教室の計7チーム、女子の部は、熊本県から網田小ハンドボールクラブ、宇土小女子ハンドボールクラブ、津奈木小女子ハンドボールクラブ、網津小ハンドボールクラブ、横瀬ハンドボールクラブ、大分県から明野西小ハンドボール少年団、明野東ハンドボールクラブ、別府市北小学校チーム、明野西B小学校チーム、計9チームが参加した。

試合形式は、男子Aブロック3チーム、Bブロック4チーム、女子は、A、B、C3ブロック、3チームづつで予選リーグが行なわれ、勝ち抜いた各4チームの決勝

トーナメントで優勝が争われた。

男子の部の優勝決定戦は、熊本県の網田小ハンドボールクラブと、同県の大江小ハンドボールクラブの対戦となったが、男子の選手の中で一番の長身者である、大江小の大田和選手(168cm、53kg)に、出場選手の中で一番小さな、網田小の西村選手(130cm、27kg)が、マンツーマンでびったりマークするという、大変ユニークで面白い戦法が功を奏して、網田小が優勝を飾った。

女子の部では、地元の明野西小と、男子と共に決勝に進出した網田小との対戦となったが、前後半大接戦の末延長に入り、タイムアップ寸前、ラッキーな得点で、明野西小ハンドボール少年団が昨年を引き続き、2連勝を飾った。

〔試合結果〕

▽男子予選リーグ  
○Aブロック  
網田 15 — 4 神埼  
(熊本)

走潟 10 — 3 神埼  
(熊本)  
網田 9 — 6 走潟

○Bブロック  
大江 11 — 2 B  
(熊本) (福岡)

宇土花園 12 — 1 三日川  
(熊本) (佐賀)

大江 13 — 4 三日川  
宇土花園 7 — 5 B S

▽決勝トーナメント準決勝  
大江 7 (2-1) 3 5 走潟

網田 8 (4-0) 2 宇土花園

▽決勝  
網田 7 (4-1) 2 3 大江

▽女子予選リーグ  
○Aブロック  
宇土 9 — 8 明野東  
(熊本) (大分)

横瀬 10 — 5 明野東  
(大分)

宇土 9 — 4 横瀬

○Bブロック  
網田 15 — 2 別府  
(熊本) (大分)

明野西A 16 — 3 別府  
(大分)

明野西A 6 — 4 網津

明野西A 6 — 4 網津

○Cブロック  
網津 6 — 4 明野西B  
(熊本) (大分)

津奈木 6 — 5 明野西B  
(熊本)

津奈木 14 — 5 網津

▽決勝トーナメント準決勝

明野西A 11 (5-1) 6 7 宇土  
網田 9 (3-1) 2 4 津奈木  
明野西A 9 (1-1) 1 5 2 8 網田

■ 第13回全日本自衛隊選手権大会

勝田が 五連勝を飾る

10月2・3日の両日、東京・駒沢体育館で開催された第13回全日本自衛隊選手権大会は、強豪・勝田(陸・茨城)が、実力を発揮、危げなく5連勝を決めた。

▽男子選手権の部

▽1回戦  
古河補給処 12 — 0 市ヶ谷  
(陸・茨城) (陸・東京)

三宿中央病 8 — 6 新教  
(陸・茨城) (陸・茨城)

久里浜 15 — 13 東立川  
(陸・神) (陸・東京)

奈川 15 — 13 東立川  
(陸・神) (陸・東京)

古河一施大 12 — 0 宇都宮  
(陸・茨城) (陸・栃木)

仙・台 12 — 0 北熊本  
(陸・宮城) (陸・宮城)

福島 12 — 0 海・広島  
(陸・福島) (海・広島)

▽2回戦  
古河補給 12 — 0 三宿中央病  
久里浜 16 — 10 古河一施大  
福島 20 — 14 仙・台

▽準決勝  
勝田 34 — 13 古河補給  
(陸・茨城)

▽少年の部

江田島少 13 (6-1) 4 7 11 武山少年  
術科学 (海) 7 (1-4) 4 3 7 久里浜  
勝田 (陸・茨城)

▽女子の部

三宿中央 5 — 4 市ヶ谷  
病院 (陸・茨城)

△壮年の部  
勝田・古 9 (4-1) 4 8 久里浜  
河O・B (陸・茨城) 5 (1-4) 4 8 武山O・B  
(陸・茨城) (陸・神)





# 各地学生秋季リーグ戦

## 関西学生秋季リーグ戦

### ▼男子1部

大体大	31	1813	25	京産大
同志社大	26	1214	18	大阪大
近畿大	26	1214	22	大阪大
大経大	24	1113	19	関大
大体大	23	1013	20	大経大
同志社大	27	1512	19	近畿大
関大	26	1313	26	大阪大
大経大	24	1410	14	大阪大
大体大	24	1113	20	近畿大
京産大	32	1418	13	関大
関大	26	1610	24	近畿大
大体大	34	1717	10	大阪大
同志社大	26	1016	24	京産大
関大	24	816	23	同志社大
大経大	25	1411	16	京産大
京産大	26	1412	20	近畿大

### 関西学生男子勝敗表

順位	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦
大体大	○	○	○	○	○	○	○
近大	○	○	○	○	○	○	○
大阪大	○	○	○	○	○	○	○
同志社大	○	○	○	○	○	○	○
京産大	○	○	○	○	○	○	○
同大	○	○	○	○	○	○	○
大経大	○	○	○	○	○	○	○
大体大	○	○	○	○	○	○	○

### ▼女子1部

大経大	20	128	19	同志社大
大体大	35	1817	15	関大
大経大	20	911	19	近畿大
京産大	26	1115	22	大阪大
大体大	32	2012	20	同志社大
大体大	43	2221	2	関学大
大教大	19	118	11	和歌山大
大体大	40	1921	9	成蹊短大
武庫川大	44	2321	1	関学大

### 関西学生女子勝敗表

順位	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦
大体大	○	○	○	○	○	○	○
成蹊短大	○	○	○	○	○	○	○
京教大	○	○	○	○	○	○	○
和歌山大	○	○	○	○	○	○	○
関学大	○	○	○	○	○	○	○
大教大	○	○	○	○	○	○	○
大体大	○	○	○	○	○	○	○
武庫川大	○	○	○	○	○	○	○

### 中・四国学生秋季

#### ▽男子1部

和歌山大	31	1714	13	関学大
大教大	23	1112	13	成蹊短大
京教大	11	83	8	和歌山大
成蹊短大	19	109	18	和歌山大
大教大	12	102	9	京教大
武庫川大	17	89	14	大体大
廣島大	32	1022	20	鳥根大
廣島工大	20	155	18	広島修道大
山口大	32	1418	21	鳥根大
山口大	26	1115	16	広島工大
広島大	24	1113	9	広島修道大
広島修道大	16	97	13	山口大
広島大	16	97	13	山口大
広島修道大	33	1716	17	鳥根大
広島工大	32	1220	19	鳥根大
山口大	23	194	21	広島修道大
広島大	30	1812	17	広島工大

冴えるパスワーク  
君の勝利球



MIKASA  
ミカサハンドボール

MGH2 ¥4,500(検定球)

MGH3 ¥4,600(検定球)

デザインが感触が新しい!

明星ゴム工業株式会社  
広島・東京・大阪・名古屋・福岡



⑤ 鳥根大学 4 敗

▽男子 2 部

○リーグ戦

岡山大 31 (23 | 8 | 9) 17 広大福山

岡山大 34 (16 | 18 | 7 | 7) 14 松山商科

高知大 23 (13 | 10 | 9 | 5) 14 松山商科

愛媛大 30 (15 | 15 | 13 | 12) 25 高知大

広大福山 21 (7 | 14 | 12 | 7) 19 愛媛大

愛媛大 23 (11 | 12 | 10 | 7) 17 松山商科

広大福山 18 (10 | 8 | 8 | 4) 12 高知大

松山商科 20 (10 | 10 | 9 | 5) 14 広大福山

岡山大 14 (7 | 7 | 7) 14 高知大

岡山大 14 (11 | 3 | 11 | 10) 12 愛媛大

【順位】①岡山大学 3 勝 1 分 ②

③愛媛大学 2 勝 2 敗 ④高知大学 1 勝 2 敗 1

分 ⑤松山商科大学 1 勝 3 敗

▽男子 3 部

○リーグ戦

徳島大 39 (16 | 23 | 11 | 5) 7 近大呉工

鳥取大 21 (15 | 6 | 11 | 12) 20 香川大

鳥取大 24 (13 | 11 | 7 | 8) 15 山口大工

香川大 35 (20 | 15 | 8 | 6) 14 近大呉工

山口大工 34 (17 | 17 | 7) 15 近大呉工

山口大工 28 (12 | 16 | 9 | 8) 17 香川大

徳島大 27 (12 | 15 | 14 | 13) 27 山口大工

鳥取大 36 (19 | 17 | 5 | 5) 8 近大呉工

鳥取大 23 (15 | 8 | 7) 15 徳島大

【順位】①鳥取大学 4 勝 ②徳島

大学 2 勝 1 敗 1 分 ③山口大学 工

学部 2 勝 1 敗 1 分 ④香川大学 1

勝 3 敗 ⑤近畿大呉工学部 4 敗

▽女子の部

○リーグ戦

山口大 17 (6 | 11 | 7 | 4) 11 高知大

岡山県立 16 (7 | 9 | 5 | 4) 9 岡山大

山口大 17 (6 | 11 | 7 | 5) 12 岡山県立

岡山大 13 (10 | 3 | 4 | 3) 7 高知大

山口大 22 (14 | 8 | 2 | 5) 7 岡山大

岡山県立 20 (8 | 12 | 5 | 5) 10 高知大

【順位】①山口大学 3 勝 ②岡山

県立短期大学 2 勝 1 敗 ③岡山大

学 1 勝 2 敗 ④高知大学 3 敗

▽入替戦

○男子 1 部 1 2 部

岡山大 22 (15 | 7 | 8 | 11) 19 鳥根大

### 中国五大大リーグ戦

○リーグ戦

山口大 24 (14 | 10 | 9 | 7) 16 広島大

山口大 31 (16 | 15 | 14 | 7) 21 岡山大

山口大 33 (19 | 14 | 9 | 9) 18 鳥根大

山口大 28 (13 | 15 | 11 | 4) 15 鳥取大

広島大 27 (15 | 12 | 10 | 11) 21 岡山大

広島大 29 (16 | 13 | 6 | 13) 19 鳥根大

広島大 24 (8 | 16 | 7 | 6) 13 鳥取大

岡山大 22 (15 | 7 | 8 | 11) 19 鳥根大

岡山大 24 (13 | 11 | 12 | 12) 24 鳥取大

鳥根大 28 (15 | 13 | 12 | 8) 20 鳥取大

【順位】①山口大学 4 勝 ②広島

大学 3 勝 1 敗 ③岡山大 1 勝 2

敗 1 分 ④鳥根大学 1 勝 3 敗 ⑤

鳥取大学 3 敗 1 分

○：中国五大大リーグ戦は、11

月 14 日、15 日の両日、山口県立体

会の覇者山口大学が本大会も全勝

で優勝を決めた。

山口大―広島大の試合は、前半

より好ディフェンスで相手得意の

ローリング攻撃を封じた山口大が

ベースを握り、攻めてもスタメン

全員得点で波に乗って終始リード

を許すことなく完勝。広島大も速

攻などで対抗したが、全般的に単

調な攻めが多く白滅した。その他

の試合では、1 部昇格を決めた岡

山大の波に乗った攻守が大会を盛

り上げた。



話題集中!! 本格派のための

## ハンドボール専門紙

### スポーツイベント

# ハンドボール

新鮮なニュースの  
「年ごめ」を  
お届けします!

〈毎月10日・25日発行〉

購読希望の方は本社へ葉がきか封書、または電話でお申込み下さい。折返し振替用紙をお送りします。年間 3,600円

### 株式会社 スポーツイベント

〒110 東京都台東区池之端 2-1-39 (D.Sビル5F)  
TEL (03) 824-2503 (代表)











# スタミナ養成が課題

遠征をふりかえって

全日本女子監督 池田鉄哉

6年ぶりのヨーロッパ遠征とあって、不安と期待をもって出発した。

日本の前途を考えると、韓国、中国に囲まれ苦戦を強いられてきただけに、この遠征で、少しでも明るい材料を、と願い、価値ある遠征としなければならなかった。

ユーゴでは、主にジュニアナショナル、有力クラブ、ユースチームと対戦、表面上の成績は3勝3敗と五分であった。

しかし、敗れた3試合は、評判どおり、ユーゴの将来を期待される選手の活躍に圧倒され、そのパワー、テクニク、スピードは、改めて、本場との差を痛感させるものといえた。

しかも、これらの選手は、20才以下のジュニアであり、ユーゴの選手層の厚さは、うらやましいの一言である。

日本としては、第1戦の8点差を、第2戦では6点差に詰めたところが一つの収穫で、高さ、パワー、スピード、テクニクと三拍子も四拍子も揃った選手に対して、どう向かっていけばよいかを、各人が体得したのなら、いっそう、今後に希望が持てる。

やはり、ナショナル・マッチで勝利を得るには、精神面の強化により、60分間たえず動ける攻防両面のスタミナ養成が、最も基本的なテーマである。

しかし、西のロング、水上、羽立、姫野らのブロンション・プレーが得点に結びついてきたなど、明るい材料も、大いにある。

オーストリアとの2試合は、勝てる要素が十二分にあったが、これは、ユーゴでの軽戦の効果が出たものと思う。

全遠征を通じ、ディフェンス面の強化の重要性を再認識した。

対策としては、ディフェンス専門でもよいから、フットワーク、読みのできる選手を育てる必要がある。

ロングシューターは、今のところ、西一人でさびしいが、辻本、畷田などの成長と奪起に期待したい。

GKは、ユーゴ、オーストリア勢に対して見劣りがなく、久々のヨーロッパ遠征でありながら、日本が善戦できたのは、井村、矢部両GKの好守におうところが大きい。

最後に、横山が試合中、目を痛め、現地で入院というアクシデントがあり、鈴木団長が付き添って大事にはいたらなかったが、遠征の際のドクター滞回は、急務であることを付け加えておきたい。



6年ぶりのヨーロッパ遠征をした日本女子チーム

## 関東学連ニューカレドニアへ

全日本学連の橋渡しによる関東学生選抜のニューカレドニア遠征が8月26日から9月2日まで行われ、2試合の親善試合を1勝1敗で分けた。

全日本学連は、54年4月にフランス協会の呼びかけで、ニューカレドニア地域に遠征、それ以来、同地域とのルートが確立され、今回の招待となったもの。

フランス領土とあって、相手側には、フランスの元ナショナルプレイヤーも加っており、かなりの力を持っている。

なお、遠征選手団の団長は中沢

### 東西両学連が西独遠征

関東、関西両学連は、このほど来年2月下旬から3月上旬にかけて、それぞれの男女選抜チームを西ドイツへ遠征させ、本場の技術習得にあたらせる計画のあることを明らかにした。

関東は5年連続の企画だが、関西は初の試み。

重夫(全日本学連理事長)、監督は福地賢介(関東学連理事長、早大OB)、コーチは新井田司(日本

学連委員長、慶大)の各氏がつとめた。

▽第1戦(8月29日)

関東学生 34 (1717 | 1411) 25 ニューカレドニア 選抜

得0 0 6 0 6 1 1 0 0 7 3 1 0

レ) スンチーレンシールナイ

カラオ ッリ ヤ オ サゲヘ

ー コリ イ モリ カク オ

ユ ニカ レグ イ カク オ

【H F セブノメレル テパタハ

GK (3) PT (2) 25

生 央 治 央 体 心 大 夫 体 心 大

東 中 日 中 日 中 日 中 日 中 日 中 日

得 0 0 3 6 6 7 1 2 1 2 2 2 3

【関野藤平尾細志藤塚小江大

高橋(東海)▽FP 酒井(筑波)

▽第2戦(8月31日)

ニューカレドニア 27 (1314 | 1214) 26 関東学生選抜

得 0 0 8 5 2 0 0 3 3 3 4 1 0

【関高尾塚江志酒藤平細大小

カラスーレンシールナイルチ

ー ココ サヤ イモジヘ ビビゲッ

ユ ニク イ オ

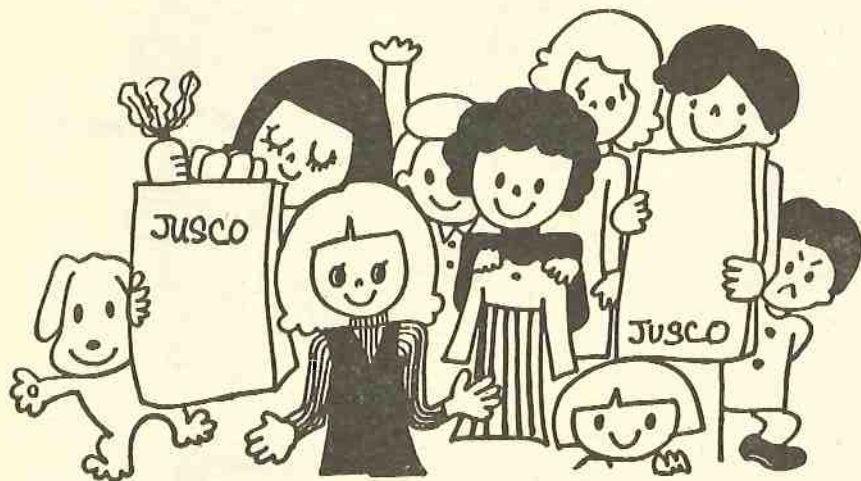
【H G テメノレタハレバセ

得 0 0 5 6 10 0 1 2 0 3 3 0 0

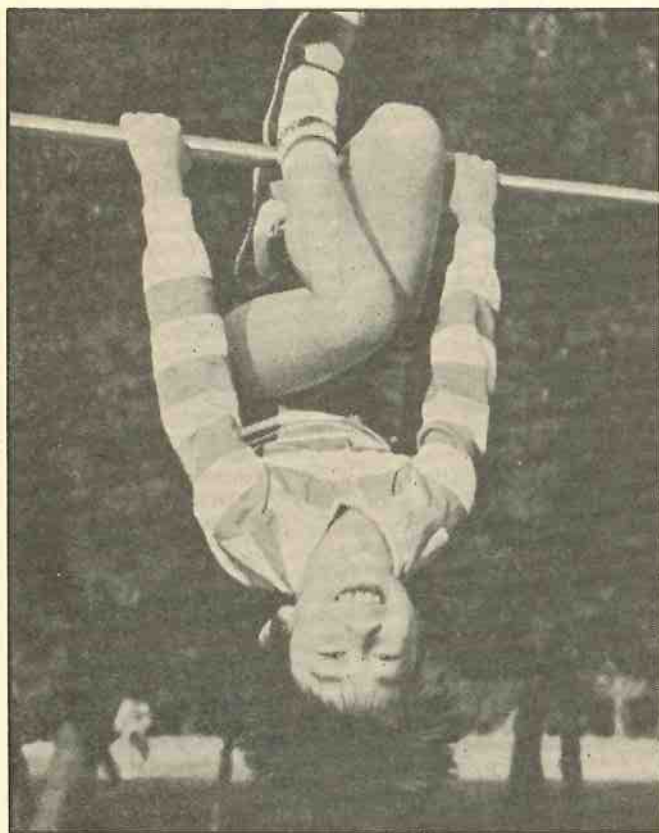
27 (1) PT (5) 26



暮らしへの奉仕を合言葉に。



**ジャスコ**  
 東京本社 東京都千代田区神田錦町1-1  
 大阪本社 大阪市福島区大開1-8-8



鉄	は	
と	も	だち

石から銅へ、銅から鉄へ。人類が暮らしの中に鉄をとりいれてから、既に3000年以上もの年月がたっています。いま、鉄はわたしたちの生活に深く結びつき、社会を支えるたいせつな役割をになっています。鉄の力強い手ごたえ、じょうぶで、加工しやすく、資源にも恵まれている鉄。新日鉄は、社会のさまざまなニーズに対応して鉄のもつこの豊かな特長を余すことなく引きだすために、新しい技術の開発や資源・エネルギーの有効利用など幅広い分野で、多くのテーマと取り組んでいます。

 **新日本製鐵**





給与のお引き出しに…



出張に…



ショッピングに…



銀行が閉まった後で…  
(ダイワの外壁や☑コーナー)



旅行に…



ふいの出費に…



# こんなとき便利な ダイワキャッシュカード。

## 日常のお引き出しに…

カード1枚で現金自動支払機から手軽に現金が引き出せます。通帳もハンコもいりません。サイフがわりにご利用を…。

## 時間外のお引き出しに…

ダイワの外壁に面したキャッシュコーナーでは、平日午前8:45～午後6:00(土曜日は午前9:00～午後2:00)まで、また☑マークのコーナーでは、平日午後5時、土曜午後2時まで現金が引き出せます。

## ご出張やお買物の折に…

お出かけ先で現金がご入用になったときダイワの全店にあるキャッシュコーナーや☑マークのコーナーがお役に立ちます。

## 給与のお引き出しに…

給与振込制をご採用の場合は、お給料日の朝からカードを使って引き出せます。奥さまもご自宅近くのダイワでどうぞ…。

☑マークのコーナーでは設置場所により、お取扱い時間が異なる場合があります。また、日・祝日および設置場所の休業日はお取扱いしません。

ダイワキャッシュカードは総合口座(普通預金)をご利用の方におつくりしています。お気軽にお申込みください。

あなたと明日を  
預金も 信託も  
**大和銀行**







高岡商	11	7	小杉
▽2回戦			
有磯	33	0	高岡
高岡向陵	9	6	富山北部
高岡女	12	5	清光女
高岡商	23	3	高岡第一
▽準決勝			
有磯	12	6	高岡向陵
	6	6	1
	5	1	6
高岡商	20	11	高岡女
	19	7	2
	7	7	
▽決勝			
有磯	11	6	高岡商
	5	3	8
	3	5	

◆京都府高校新人戦

※有磯は4年連続16回目の優勝

嵯峨野	19	2	平安
城陽	12	8	京都商
舞鶴工専	10	6	平安
城陽	19	3	嵯峨野
※城陽が準決勝リーグへ			
○Cゾーン			
北嵯峨	17	6	堀川
鴨沂	17	16	堀川
東山	17	4	堀川
北嵯峨	14	13	北嵯峨
東山	11	8	北嵯峨
北嵯峨	15	12	北嵯峨
東山	27	12	北嵯峨
東山	19	10	北嵯峨
堀川	13	12	北嵯峨
堀川	11	10	北嵯峨
※東山が準決勝リーグへ			
○Dゾーン			
塔南	19	9	堀川
同志社	13	11	堀川
塔南	9	8	堀川
田辺	16	13	堀川
塔南	22	12	堀川
同志社	16	12	堀川
塔南	16	12	堀川
同志社	16	12	堀川
※塔南が準決勝リーグへ			
○Eゾーン			
柱	14	12	堀川
東字	23	8	堀川
柱	20	5	堀川
東字	25	3	堀川
柱	23	7	堀川
東字	14	6	堀川
西宇治	22	4	堀川

洛水	13	6	洛東
西宇治	21	6	洛北
西宇治	10	9	洛北
洛北	14	7	洛東
※西宇治が準決勝リーグへ			
▽準決勝リーグ			
○Aゾーン			
桂	6	4	城陽
	2	2	4
	4	2	6
城陽	15	7	城陽
	8	7	5
	1	1	12
桂	13	5	塔南
	8	3	7
	1	3	4
○Bゾーン			
東山	16	9	東山
	7	4	5
	1	1	9
西宇治	11	7	乙訓
	7	4	1
	1	1	6
東山	12	5	西宇治
	6	2	3
	2	2	5
▽決勝			
桂	8	6	東山
	2	3	4
	1	1	7

※塔南が準決勝リーグへ			
○Bゾーン			
西宇治	20	5	桃山
西宇治	18	5	桃山
城陽	4	4	桃山
西宇治	13	6	洛北
洛北	4	3	洛北
西宇治	15	3	洛北
※西宇治が準決勝リーグへ			
○Cゾーン			
東宇治	20	3	洛水
城陽	8	7	洛水
東宇治	20	2	洛水
日吉	4	2	洛水
東宇治	19	6	洛水
城陽	5	3	洛水
※東宇治が準決勝リーグへ			
○Dゾーン			
向陽	12	10	田辺
向陽	10	4	田辺
向陽	7	4	田辺
向陽	15	2	田辺
向陽	16	3	田辺
※向陽が準決勝リーグへ			
○Eゾーン			
光華	10	5	明德
西京	40	2	西山
西京	34	5	西山
光華	16	3	西山
明德	18	3	西山
光華	15	11	西山
※光華が準決勝リーグへ			
○Fゾーン			
稜	6	5	乙訓

京都女	15	4	北嵯峨
東稜	10	6	北嵯峨
乙訓	7	6	京都女
北嵯峨	9	3	乙訓
東稜	6	4	京都女
※東稜が準決勝リーグへ			
▽準決勝リーグ			
○Aゾーン			
東宇治	9	6	東稜
	3	2	5
	5	2	7
光華	14	8	東稜
	6	3	4
	1	1	7
東宇治	12	6	光華
	6	1	1
	1	1	2
○Bゾーン			
向陽	5	1	西宇治
	4	2	3
	1	1	5
塔南	9	4	西宇治
	4	1	4
	1	1	5
塔南	3	2	向陽
	1	0	3
	1	0	3
▽決勝			
東宇治	15	5	塔南
	2	2	1
	2	2	1
	2	2	1
	2	2	1
※東宇治は2年連続2回目の優勝			



島根大 30 — 17 関金ク  
 武田薬品光 28 — 19 海上白衛隊具  
 ▽2回戦  
 湧永薬品 33 — 20 下関ク  
 岩国ク 32 — 30 岡山教員  
 島根チーム 31 — 29 境港市ク  
 武田薬品光 30 — 21 島根大  
 ▽準決勝  
 湧永薬品 26 (1211) 6 6 12 岩国ク  
 島根チー 33 (1419) 1510 25 武田薬品  
 ム 先  
 ▽決勝  
 湧永薬品 49 (2524) 6 10 16 島根チー  
 ▽第9回中国一般女子選手権  
 (5月17、18日)  
 ▽1回戦  
 広島HFG 24 (1014) 8 17 米子ク  
 米子ク 28 — 15 松江ク  
 ▽決勝  
 広島HF 24 (1014) 8 17 米子ク  
 Gク  
 ▽第9回中国中学校選手権  
 (8月3、4日)  
 ▽男子▽  
 ▽1回戦  
 長浜中 22 — 2 境港二中  
 ▽準決勝  
 下松中 17 — 9 長浜中  
 操南中 18 — 15 江東中  
 ▽決勝  
 下松中 23 (1211) 3 3 6 操南中  
 ▽女子▽  
 ▽1回戦

比治山中 18 — 2 境港一中  
 ▽準決勝  
 住古中 17 — 5 比治山中  
 操南中 12 — 6 江東中  
 ▽決勝  
 住古中 8 (5—2) 5 操南中  
 (3—3)  
 ▽第8回中国地区高専親善試合  
 (7月5日)  
 ○Aパート  
 津山工専 15 (10—5) 9 4 13 呉工専  
 ○Bパート  
 米子工専 17 (11—6) 8 6 14 徳山工専  
 宇部工専 22 (11—1) 7 4 11 米子工専  
 ▽第33回西日本医科学生総体(7月29〜31日・京都府立丹波自然運動公園体育館)  
 ▽1回戦  
 富山医大 23 — 13 京都大  
 徳島大 12 — 0 大阪大  
 金沢医大 15 — 12 山口大  
 愛知医大 12 — 0 和歌山医大  
 ▽準決勝  
 徳島大 17 (9—2) 10 富山医大  
 (8—8) 大  
 金沢医大 20 (12—8) 9 6 15 愛知医大  
 (12—9) 9  
 ▽同決勝  
 金沢医大 19 (10—9) 9 16 徳島大  
 (10—7) 7

○：昨年と同じ顔合せとなった決勝戦は、両チーム共ゲームメーカーをマンシューマンでマークする展開となった(金沢医大②潮平、徳島大④古市)。前半は金沢医大がやや有利に展開したが、終了間際に徳島大が同点に追いつき、さすがと思われた。しかし、後半になって金沢医大は決勝戦まで温存してきた⑥青木の活躍で徳島大を突き放した。何とか追いすがろうとする徳島大であったが、④古市がマークされてはさすがに苦しく差をつめることが出来ず勝敗が決し、金沢医大が昨年の雪辱を果たした。  
 (大会後記)  
 西日本医科学生総合体育大会ハンドボール部門は、今年から念願の西医体(略称)の正式種目となった。そのために尽力のあった6年生のうちより山口大学の川上不二夫選手に豊田杯(西医体ハンドボールの設置に尽力のあった大阪医大OBの豊田昌夫氏の名をとったもの)が贈られた。  
 我々としても、今後とも医学生におけるハンドボールの発展のために関西医科学生ハンドボール選手権や近畿または西日本医歯薬大会等の企画に着手しようと思っており、東日本医科学生総合体育大会ハンドボール部門との交流(全国医科学生大会)も早期に実現させようと考えております。

また、来年の西医体ハンドボール部門は、産業医科大学の主管で北九州市で行われる予定ですが、より多くの大学が参加してますます発展することを切望しております。(文責 岩井一宏)  
 ◆第8回千葉県総合選手権  
 (8月14、15日)  
 ▽一般男子▽  
 ▽1回戦  
 市柏高A 10 — 4 明徳高  
 松戸大実高 18 — 12 木更津ク  
 東邦高 18 — 11 芝工大柏高  
 鶴舞商高 17 — 4 生浜高  
 佐原高 22 — 7 国分高  
 市柏高B 21 — 9 小金高  
 市川高 24 — 4 四街道高  
 水更津高 14 — 13 我孫子高  
 清水ク 17 — 12 柏南高  
 ▽2回戦  
 市柏高A 12 — 8 東邦ク  
 小金ク 26 — 6 国府台高  
 日産石油 21 — 13 松戸大実高  
 順天堂大 32 — 6 清水高  
 東邦高 16 — 12 海白木補所  
 佐原クA 22 — 11 鶴舞商高  
 市原ク 13 — 12 佐原高  
 海白下総 19 — 11 泉柏高  
 市柏高B 16 — 13 東電千葉  
 流山中央高 12 — 0 若潮クB  
 市川高 14 — 13 三井石油  
 出光千葉 30 — 8 鎌ヶ谷高  
 佐原クB 16 — 11 木更津高  
 清水ク 14 — 10 千葉大  
 ▽3回戦  
 千葉教員 39 — 5 市柏高A  
 小金ク 17 — 13 日産石油  
 順天堂大 29 — 15 東邦高

市原ク 15 — 11 佐原クA  
 海白下総 19 — 15 市柏高B  
 市川高 20 — 8 流山中央高  
 出光千葉 21 — 16 佐原クB  
 若潮クA 21 — 15 清水ク  
 ▽準々決勝  
 千葉教員 35 — 12 小金ク  
 順天堂大 31 — 12 市原ク  
 海白下総 16 — 13 市川高  
 若潮クA 34 — 16 出光千葉  
 ▽準決勝  
 千葉教員 23 (1211) 11 8 19 順天堂大  
 海白下総 23 (15—8) 8 9 17 若潮クA  
 ▽決勝  
 千葉教員 35 (2015) 8 4 12 海白下総  
 ▽1回戦  
 和洋ク 11 — 4 流山中央高  
 東邦ク 28 — 4 我孫子高  
 佐原女高B 18 — 2 千葉大  
 ▽2回戦  
 千葉ク 16 — 8 和洋ク  
 佐原女高A 30 — 3 市柏高  
 朝顔ク 19 — 10 佐原高  
 昭和学院高 13 — 6 東邦ク  
 東邦高 24 — 8 佐原女高B  
 佐原ク 15 — 10 四街道高  
 水郷ク 19 — 7 生浜高  
 昭和学院ク 10 — 3 明徳高  
 ▽準々決勝  
 千葉ク 27 — 3 佐原女高A  
 昭和学院高 20 — 8 朝顔ク  
 東邦高 17 — 1 佐原ク





“まごころのおつきあい”が  
私たちのモットーです



あなたの銀行

ホッ コク

**北 國 銀 行**

●本店 石川県金沢市下堤町 ●店舗 石川・富山・福井・東京・大阪・名古屋・京都・104か店

## 雷災からゴルファーを守る大崎のFYケージ



東京ゴルフ倶楽部

いま、安全なゴルフ場作りが、  
社会的なニーズを呼んでいます。

もしプレー中に雷に会ったら、せつかくのナイス  
ショットも、命がけて逃げなければなりません。  
そんな時、安全な待避小屋が備えてあれば、あな  
たのゴルフ場は完璧です。

落雷は、時、場所、人を選びません。安全な待避小屋  
→大崎のFYケージを適所に設置して中に入れば、  
雷災から完全に保護されます。



**大崎電氣工業株式會社**

本社 東京都品川区東五反田二丁目二番七号  
☎ (03) 443-7171 (大代表) 〒141

**FYケージ**

防雷シエルター

工業所有権出願中  
特許3件  
実用新案4件  
意匠5件  
商標1件



昭和学院ク 18 — 10 水郷ク

▽準決勝 千葉ク 14 (10 4 | 2 7) 9 昭和学院

昭和学院ク 9 (4 5 | 4 4) 8 東邦高

▽決勝 千葉ク 11 (4 7 | 6 4) 10 昭和学院

△中学男子▽

▽準々決勝 福栄中 15 — 7 柏南都中

東邦中 7 — 2 逆井中

流山南都中 9 — 6 佐原五中

柏三中 15 — 7 市川中

▽準決勝 福栄中 18 — 1 東邦中

柏三中 15 — 6 流山南都中

▽決勝 福栄中 12 (6 6 | 2 2) 4 柏三中

△中学女子▽

▽準々決勝 佐原四中 8 — 3 流山南都中

布佐中 5 — 4 昭栄中

佐原五中 21 — 4 逆井中

白井中 20 — 5 佐原二中

▽準決勝 佐原四中 11 — 9 布佐中

白井中 12 — 3 佐原五中

▽決勝 白井中 14 (8 8 | 1 2) 3 佐原四中

▽大阪府高校秋季総合合

(8月25、26日)

△男子▽

城 南 14 | 1 1 豊 島

撰 津 21 | 9 高 石

此 花 15 | 9 大阪学院

桃 山 22 | 1 門 真

北 陽 17 | 11 堺 工

都 島 21 | 8 上 宮

浪 商 20 | 13 貝 塚 南

初 芝 17 | 9 大 松

▽2回戦 三 島 18 | 4 原

撰 津 10 | 9 此 花

桃 山 22 | 14 北 陽

都 島 15 | 8 浪 商

三 島 16 | 13 初 芝

▽準決勝 桃 山 12 (2 10 | 4 4) 8 撰 津

都 島 14 (8 6 | 5 5) 10 三 島

▽決勝 桃 山 13 (10 3 | 7 3) 10 都 島 工

△女子▽

▽1回戦 住吉学園 21 | 9 桜 塚

撰 津 9 | 4 鶴 見 商

箕 面 8 | 6 八 尾

春日 丘 14 | 5 長 野

城 南 8 | 2 枚 方

豊 島 5 | 3 三 国 丘

初 芝 12 | 11 門 真

▽2回戦 大 谷 11 | 7 桜 宮

住吉学園 10 | 8 撰 津

大 谷 22 | 5 初 芝

▽準決勝 住吉学園 10 (4 6 | 4 4) 8 春日 丘

大 谷 7 (4 3 | 2 3) 5 城 南

▽決勝 大 谷 10 (6 4 | 3 3) 6 住吉学園

の部

(8月26、27日)

△男子▽

▽1回戦 荖崎中B 22 | 5 麻生二中

土浦三中 14 | 6 府 中 中

石岡中A 37 | 4 利 根 中

石岡中B 9 | 8 古 河 一 中

結 城 中 13 | 9 伊 奈 中 B

▽2回戦 伊 奈 中 A 14 | 8 荖崎中B

石岡中A 21 | 6 土 浦 三 中

出島北中 18 | 6 石 岡 中 B

結 城 中 12 | 9 荖 崎 中 A

▽準決勝 伊 奈 中 A 17 | 4 石 岡 中 A

出島北中 17 | 10 結 城 中

▽決勝 伊 奈 中 A 12 (8 8 | 4 6) 11 出島北中

※伊奈中は2回目の優勝

△女子▽

▽1回戦 鹿生中 11 | 5 水海道中

伊奈中B 11 | 4 玉造中

結 城 中 19 | 3 江 戸 崎 中

▽2回戦 伊 奈 中 A 14 | 4 麻 生 中

岩井南中 10 | 6 出 島 北 中

石 岡 中 8 | 7 伊 奈 中 B

結 城 中 11 | 9 岩 瀬 東 中

▽準決勝 伊 奈 中 A 17 | 4 岩 井 南 中

結 城 中 11 | 8 石 岡 中

▽決勝 伊 奈 中 A 24 (14 10 | 2 3) 5 結 城 中

伊奈中は5連勝

◆関東実業団選手権大会

(9月5、6日)

▽男子1回戦 日本発条 20 (12 8 | 9 6) 15 出光千葉

日産化学 16 (10 6 | 9 2) 11 日本鋼管

千 葉 16 (10 6 | 9 2) 11 京 浜

三井石化 29 (16 13 | 11 8) 19 日進商会

千 葉 18 (12 6 | 8 6) 14 日本原子

丸善石油 18 (12 6 | 8 6) 14 力 研

セントラ 28 (18 10 | 4 6) 10 東京電力

▽2回戦 三 景 24 (12 12 | 9 6) 15 日本発条

中村荷役 41 (22 19 | 2 2) 4 日産化学

運 輸 39 (22 17 | 8 7) 15 三井石化

大崎電気 39 (22 17 | 8 7) 15 千 葉

丸善石油 15 (7 8 | 7 6) 13 海白下総

千 葉 22 (12 10 | 8 8) 16 セントラ

▽3回戦 三 景 24 | 17 東 京 重 機

大崎電気 32 | 13 丸善石油千葉

▽準決勝 三 景 24 (14 10 | 10 11) 21 中村荷役

三 景 26 (11 15 | 11 8) 19 大崎電気

▽決勝 三陽商会 22 (12 10 | 7 14) 21 三 景

三陽商会は初優勝

和歌山県秋季選手権

(10月31日、11月1日)

△一般男子▽

▽1回戦 御坊クB 9 | 0 市和商ク

箕島高 28 | 11 桐蔭高B

貴志川ク 30 | 14 和 高 専

笠 田 高 27 | 10 桐 蔭 高 A

耐 久 高 28 | 11 泉 知 商

住友金属 13 | 11 桐 蔭 高

和歌山大 21 | 10 御坊商工

粉 河 高 18 | 17 かつらぎク

▽2回戦 箕島高 20 | 19 御坊クB

丸善石油 27 | 8 貴志川ク

笠 田 高 24 | 17 御坊商工3年

住友金属 25 | 7 耐 久 高

和歌山大 21 | 5 粉 河 高

▽3回戦 泉和商ク 34 | 15 箕島高

丸善石油 25 | 17 笠田高

和歌山大 31 | 15 和歌山ク



▽準決勝	丸善石油 21	19	県和商ク
和歌山大	19	14	御坊クA
▽決勝	丸善石油 23	13	和歌山大
△一般女子▽			
▽1回戦	笠田ク 13	7	耐久高
粉河高	16	6	御坊商高
県和商	7	4	笠田高
▽準決勝	粉河高3年12	9	笠田ク
粉河高	19	2	県和商
▽決勝	粉河高3年13	11	粉河高
△中学男子▽			
▽予選リーグ			
○Aゾーン	白馬 22	2	打田
那賀 16	4	打田	
白馬 20	6	那賀	
○Bゾーン			
金屋 11	7	貴志川	
岩出 15	11	貴志川	
岩出 14	11	金屋	
▽決勝トーナメント準決勝			
白馬 14	6	金屋	
岩出 12	7	那賀	
▽決勝			
白馬 11	9	岩出	
△中学女子▽			
▽予選リーグ			
○Aゾーン			
桃山 28	3	粉河	
金屋 34	2	粉河	

金屋 9 — 9 桃山

○Bゾーン

岩出 14 — 7 那賀

岩出 13 — 3 貴志川

那賀 19 — 2 貴志川

▽決勝トーナメント準決勝

金屋 10 — 8 那賀

岩出 14 — 6 桃山

▽決勝

金屋 5 — 4 岩出

◆第31回茨城県総合一般の部選手権大会

(10月31日、11月1日)

△男子▽

▽1回戦

筑波振球会 37 — 16 勝田高

日本原研 22 — 11 動燃東海

筑波大 34 — 9 日立工商

白衛隊勝田 28 — 22 水海道一高

竹園高 21 — 17 岩井高

▽2回戦

筑波振球会 19 — 15 茨城大

日本原研 19 — 6 水戸一高

日立一高 20 — 14 波崎高

筑波大 24 — 5 勝田高

千代田ク 11 — 10 銚田一高

筑波ラバース 27 — 9 白衛隊古河

白衛隊勝田 24 — 18 麻生高

茨城ク 23 — 17 竹園高

▽3回戦

筑波振球会 21 — 14 日本原研

筑波大 34 — 7 日立一高

筑波ラバース不戦勝

茨城ク 20 — 15 白衛隊勝田

▽準決勝

筑波振球 29 (1613 — 1211) 23 筑波大

会 1616 — 1010 20 筑波ラバース

茨城ク 32 (1616 — 1010) 20 筑波ラバース

▽決勝

筑波振球 23 (1013 — 139) 22 茨城ク

会 1013 — 139 22 茨城ク

◆筑波振球会は初優勝

△女子▽

▽1回戦

桜芳ク 15 — 8 潮来高

茨城大 不戦勝 太田二高OG

友部高 13 — 9 銚田二高

麻生高 10 — 7 高萩高

▽2回戦

桜芳ク 11 — 11 結城二高

3 P T C 2

茨城大 30 — 0 那珂湊二高

友部高 12 — 3 岩井高

麻生高 17 — 16 太田二高

▽準決勝

茨城大 12 (57 — 44) 7 桜芳ク

麻生高 10 (31 — 04) 8 友部高

▽3位決定戦

桜芳ク 10 (73 — 114) 5 友部高

▽決勝

茨城大 13 (74 — 65) 9 麻生高

◆茨城大は3年ぶり2回目の優勝

◆滋賀県秋季社会人大会

▽準決勝

▽準決勝

京都セラ 23 (1013 — 1116) 17 高島ク

ミック 1616 — 1010 20 筑波ラバース

八幡ク 26 (1313 — 1016) 16 長浜ク

▽決勝

八幡ク 28 (1216 — 93) 12 京都セラ

会 1216 — 93 12 ミック

◆八幡クラブは4連続8回目的優勝

▽準決勝

富山県選手権

(11月15、22日)

△成年男子▽

▽1回戦

八尾ク 18 — 10 想球会

富山教員 26 — 19 射水ク

氷見ク 29 — 9 桜樹ク

高岡商ク キケン 北嶺会

▽準決勝

富山教員 28 — 16 八尾ク

氷見ク 43 — 8 高岡商ク

▽決勝

富山教員 27 (1116 — 1111) 22 氷見ク

△成年女子▽

▽1回戦

有磯OG 11 — 5 桜球会

想球会 8 — 6 小杉OG

▽決勝

有磯OG 15 (87 — 114) 5 想球会

◆茨城県中学校新人大会

(11月9、10日)

△男子▽

▽1回戦

鬼怒 16 — 11 伊奈

土浦三 11 — 6 水海道

古河一 11 — 6 利根

府中 15 — 8 出島北

麻生一 17 — 6 岩井

石岡 16 — 10 上浦一

結城 12 — 0 水海道四

▽2回戦

莚崎 22 — 11 鬼怒

土浦三 9 — 7 古河一

府中 15 — 13 麻生一

結城 17 — 8 石岡

▽準決勝

莚崎 23 — 4 土浦三

結城 13 — 5 府中

▽決勝

莚崎 12 — 7 結城

△女子▽

▽1回戦

玉造 12 — 4 石岡

▽2回戦

伊奈 12 — 4 玉造

水海道 16 — 5 江戸崎

岩井 14 — 4 出島北

岩井南 14 — 3 岩瀬東

麻生 12 — 5 鬼怒

五霞 11 — 2 利根

北浦 12 — 5 牛久一

結城 12 — 0 八千代一

▽3回戦

水海道 4 — 3 伊奈

岩井 6 — 3 岩井南

麻生 23 — 6 五霞

結城 7 — 4 北浦

▽準決勝

岩井 10 — 2 水海道





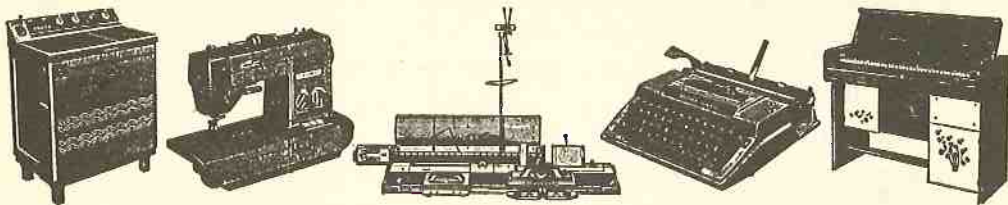
## 練習が技術をつちかい 技術が信頼を支える

きょうの反省を、あすの練習に、試合に結びつける……スポーツマンにとって、大切な心がまえです。常により高度な技術をめざしてチャレンジする——それはブラザーが目ざ

しているものと一致します。技術がチームメートの信頼を支えるように、お客さまの信頼に応えるのは、高度な技術に支えられた品質以外にないのですから——。

**BROTHER**  
**ブラザー**

ブラザー工業株式会社  
ブラザーミシン販売株式会社





麻生 7-3 結城  
▽決勝  
麻生 15-5 岩井

◆第31回青森県秋季高校

(11月21、22日)

△男子▽

▽1回戦  
野辺地横浜 キケン 鯉ヶ沢

三本木 13-10 五所川原

青森東 26-16 弘前南

青森南 キケン 五所川原工

青森 25-9 十和田工

青森 20-8 野辺地工

▽2回戦

野辺地横浜 21-11 柏木農

三本木 27-11 青森東

青森南 36-9 青森南

野辺地 23-13 青森

▽準決勝

三本木 21-13 8 7 10 野辺地横浜

青森南 17-0 2 8 7 16 野辺地

▽決勝

青森南 29-15 14 8 5 13 三本木

△女子▽

▽1回戦  
青森南 9-6 三本木

七戸 10-5 青森中央

青森西 18-2 青森東

▽準決勝

野辺地 7-4 5 5 7 青森南

出光千葉 21-10 11 10 10 20 日産石油

海目下総 18-7 11 8 10 18 三井石油

化学 28-11 17 9 11 20 海白木補

日産石油 30-17 13 8 11 19 丸善石油

海目下総 26-14 12 4 6 10 海白木補

三井石油 29-16 13 11 11 22 出光千葉

化学 26-14 12 4 6 10 海白木補

丸善石油 34-13 21 7 6 13 海白木補

丸善石油 26-13 13 10 8 18 日産石油

千葉 26-13 13 10 8 18 日産石油

青森西 26-12 14 2 2 4 七戸

▽3位決定戦  
青森南 10-6 4 1 3 1 4 七戸

▽決勝  
青森西 18-8 10 4 6 10 野辺地

▽1部リーグ  
三井石油 22-12 10 9 10 19 日産石油

化学 22-12 10 9 10 19 日産石油

丸善石油 16-11 5 7 4 11 出光千葉

三井石油 23-11 12 14 6 20 丸善石油

化学 23-11 12 14 6 20 丸善石油

海目下総 26-13 13 7 5 12 日産石油

海目下総 29-14 15 5 4 9 海白木補

三井石油 31-18 13 10 12 22 出光千葉

化学 31-18 13 10 12 22 出光千葉

丸善石油 34-13 21 7 6 13 海白木補

丸善石油 26-13 13 10 8 18 日産石油

千葉 26-13 13 10 8 18 日産石油

出光千葉 26-12 14 8 3 11 海白木補

出光千葉 21-10 11 10 10 20 日産石油

海目下総 18-7 11 8 10 18 三井石油

化学 28-11 17 9 11 20 海白木補

日産石油 30-17 13 8 11 19 丸善石油

海目下総 26-14 12 4 6 10 海白木補

三井石油 29-16 13 11 11 22 出光千葉

化学 26-14 12 4 6 10 海白木補

丸善石油 34-13 21 7 6 13 海白木補

丸善石油 26-13 13 10 8 18 日産石油

千葉 26-13 13 10 8 18 日産石油

出光千葉 26-12 14 8 3 11 海白木補

出光千葉 21-10 11 10 10 20 日産石油

海目下総 18-7 11 8 10 18 三井石油

化学 28-11 17 9 11 20 海白木補

日産石油 30-17 13 8 11 19 丸善石油

海目下総 26-14 12 4 6 10 海白木補

三井石油 29-16 13 11 11 22 出光千葉

化学 26-14 12 4 6 10 海白木補

丸善石油 34-13 21 7 6 13 海白木補

(順位) ①海目下総 ②三井石油化学 ③丸善石油千葉 ④出光千葉 ⑤日産石油化学 ⑥海白木補所

▽2部リーグ  
陸白第一 23-12 11 2 10 住友千葉

陸白第一 23-12 11 2 10 住友千葉

化学 23-10 13 18 22 東京電力

住友千葉 23-10 13 18 22 東京電力

陸白第一 18-6 12 1 5 13 東京電力

陸白第一 18-6 12 1 5 13 東京電力

陸白第一 18-6 12 1 5 13 東京電力

陸白第一 18-6 12 1 5 13 東京電力

陸白第一 18-6 12 1 5 13 東京電力

陸白第一 18-6 12 1 5 13 東京電力

陸白第一 18-6 12 1 5 13 東京電力

陸白第一 18-6 12 1 5 13 東京電力

陸白第一 18-6 12 1 5 13 東京電力

陸白第一 18-6 12 1 5 13 東京電力

陸白第一 18-6 12 1 5 13 東京電力

陸白第一 18-6 12 1 5 13 東京電力

陸白第一 18-6 12 1 5 13 東京電力

陸白第一 18-6 12 1 5 13 東京電力

陸白第一 18-6 12 1 5 13 東京電力

陸白第一 18-6 12 1 5 13 東京電力

陸白第一 18-6 12 1 5 13 東京電力

陸白第一 18-6 12 1 5 13 東京電力

陸白第一 18-6 12 1 5 13 東京電力

陸白第一 18-6 12 1 5 13 東京電力

陸白第一 18-6 12 1 5 13 東京電力

陸白第一 18-6 12 1 5 13 東京電力

陸白第一 18-6 12 1 5 13 東京電力

陸白第一 18-6 12 1 5 13 東京電力

陸白第一 18-6 12 1 5 13 東京電力

陸白第一 18-6 12 1 5 13 東京電力

陸白第一 18-6 12 1 5 13 東京電力

陸白第一 18-6 12 1 5 13 東京電力

陸白第一 18-6 12 1 5 13 東京電力

陸白第一 18-6 12 1 5 13 東京電力

▽予選リーグ  
○Aゾーン  
①彦根西 ②安曇川 ③八幡南  
○Bゾーン  
①守山女 ②彦根東 ③愛知  
○Cゾーン  
①彦根南 ②能登川 ③高島  
○Dゾーン  
①大津商 ②米原

▽決勝トーナメント1回戦  
能登川 8-6 愛知

八幡南 13-10 米原

高島 9-8 安曇川

▽2回戦  
彦根西 14-2 能登川

彦根東 11-8 大津商

彦根南 16-3 八幡南

守山女 14-9 高島

▽準決勝  
彦根南 16-4 12 9 5 14 守山女

彦根西 21-9 12 0 2 2 彦根東

彦根西 13-6 7 8 1 9 彦根南

▽決勝  
彦根西 13-6 7 8 1 9 彦根南

彦根西 13-6 7 8 1 9 彦根南

彦根西 13-6 7 8 1 9 彦根南

彦根西 13-6 7 8 1 9 彦根南

彦根西 13-6 7 8 1 9 彦根南

彦根西 13-6 7 8 1 9 彦根南

彦根西 13-6 7 8 1 9 彦根南

彦根西 13-6 7 8 1 9 彦根南

彦根西 13-6 7 8 1 9 彦根南

彦根西 13-6 7 8 1 9 彦根南

彦根西 13-6 7 8 1 9 彦根南

彦根西 13-6 7 8 1 9 彦根南

彦根西 13-6 7 8 1 9 彦根南

彦根西 13-6 7 8 1 9 彦根南

彦根西 13-6 7 8 1 9 彦根南

彦根西 13-6 7 8 1 9 彦根南

彦根西 13-6 7 8 1 9 彦根南

彦根西 13-6 7 8 1 9 彦根南

彦根西 13-6 7 8 1 9 彦根南

彦根西 13-6 7 8 1 9 彦根南

彦根西 13-6 7 8 1 9 彦根南

彦根西 13-6 7 8 1 9 彦根南

彦根西 13-6 7 8 1 9 彦根南

彦根西 13-6 7 8 1 9 彦根南

※水見クラブが中地区代表として  
全日本総合に出場

◆三重県総合選手権

△男子▽  
▽1回戦  
津工 A 17-6 鈴鹿高専

鳥羽商船 B 18-15 日生学園第二

鶴ノ森ク A 31-10 海星高 A

桑名西高 16-14 四日市中

OB 16-14 中央工 A

三重教員 B 25-14 亀山高 OB

中央ク 31-15 半田ク

三重大 28-10 七和ク

四日市工 A 23-10 四日市南高

木田爽風会 31-11 鶴ノ森ク B

セブンス 27-21 龜山高

桑名工 A 22-19 愛球会

桑名西高 20-10 四日市西高

▽2回戦  
桑名工 B 23-12 明野航空学校

桑名高 B 24-13 津高

桑名高 A 15-12 四日市中

尾鷲高 B 25-11 高田 A

本田技研 41-10 津工業 A

三菱油化 16-15 鳥羽商船 B

鶴ノ森ク A 19-11 鷺球会

四日市工業 B 19-10 中央ク

桑名西 OB 17-10 尾鷲高 A

三重教員 B 31-16 高田高 B

三重教員 A 28-24 四日市工業 A

尾鷲ク 31-17 三重大

セブンス 36-17 津工 B

水見ク (北信越) 25-13 12 11 8 19 雪陵ク

氷見ク (北信越) 20-7 13 10 7 17 蒲郡ク

水見ク (北信越) 20-7 13 10 7 17 蒲郡ク

氷見ク (北信越) 20-7 13 10 7 17 蒲郡ク

氷見ク (北信越) 20-7 13 10 7 17 蒲郡ク

氷見ク (北信越) 20-7 13 10 7 17 蒲郡ク

氷見ク (北信越) 20-7 13 10 7 17 蒲郡ク



# HANDBALL SPECIAL

NEW

3063 ● 3064 ● 3065 ● ¥12,000

● オックスフォードタイプ ● シェルソール ● トライクソール

3064 ● ノックアウトタイプ

3065 ● ノックアウトタイプ



## 新登場、ハンドボールスペシャル。なぜ、「スペシャル」なのか。



あのシェルソールが、ダッシュ力、ストップ性、衝撃吸収性をアップ。世界選手権を始め、国際大会で圧倒的な使用率を誇り、数々の栄光へ導きつづけるアディダス・ハンドボールシューズが、スポーツ科学の最新の成果を背景にさらに新たなシェルソールを装備して登場しました。その名も「ハンドボールスペシャル」。速攻性の追求はもちろん、ソールの溝は極限の倒れ込みシフトでも安定した軸足を確保。ターンを容易にする回転ゾーンやグリップ性を高める吸盤、トレフォイル(3つ葉)パターンなど、ハンドボール競技におけるフットワークの意味をマキシムまで追求し、ダッシュ力、ストップ性、衝撃吸収性をさらにアップしています。

勝利を呼ぶ3本線

# adidas



The science of sport.



兼松スポーツ用品株式会社

〒532 大阪市淀川区木川東2-5-3 ☎06-306-1431 / 〒130 東京都墨田区緑2-12-3 ☎03-634-1411



本田爽風会 36	10	鳥羽商船 A		
桑名工 A 22	8	海星高 A		
本田技研 B 49	13	桑名西高		
▽3回戦				
本田技研 A 43	8	三菱油化		
鶴ノ森ク A 31	24	桑名工 B		
四日市工 B 16	9	桑名高 B		
三重教員 A 31	24	尾鷲ク		
本田爽風会 29	6	桑名高 A		
三重教員 B 22	18	桑名西高 O B		
本田技研 B 40	13	尾鷲高 B		
桑名工 A 12	0	セブンス ターズ		
▽準々決勝				
本田爽風会 26	20	三重教員 A		
本田技研 B 52	12	桑名工 A		
本田技研 A 36	12	鶴ノ森ク		
三重教員 B 21	19	四日市工 B		
▽準決勝				
本田技研 A 27	1215	15	三重教員 B	
本田技研 B 29	1217	107	17	本田爽風会
本田技研 21	1011	118	19	本田技研 A
▽決勝				
本田技研 21	1011	118	19	本田技研 A

暁高 B 23	5	四日市商 O G		
暁高 O G 13	8	上野高		
酒高 C 17	11	桑名 O G		
▽2回戦				
暁高 A 20	3	亀山高 O G		
津女子高 B 12	0	松阪女子高		
むつみヶ丘ク 23	6	津西高		
亀山高 13	10	暁高 O G		
津女子高 A 15	3	酒商 C		
ジャスコ西 22	5	暁高 B		
酒商 B 12	0	あゆみク		
ジャスコ東 24	8	尾鷲高 A		
▽準々決勝				
ジャスコ東 21	11	暁高 A		
津女子高 B 14	6	酒商 B		
津女子高 A 19	12	亀山高		
ジャスコ西 12	0	むつみヶ丘ク		
▽準決勝				
ジャスコ 27	1710	23	5	津女子高 B
ジャスコ 31	1417	21	3	津女子高 A
ジャスコ 19	910	87	15	ジャスコ西
▽決勝				
ジャスコ 19	910	87	15	ジャスコ西

浄心 13	7	新		
笈山北 17	11	笹		
守山北 13	8	平		
▽2回戦				
御幸山 17	12	昭		
明豊 18	12	和		
神沢 14	5	一		
沙路 26	7	久		
猪子石 13	11	北		
豊国 20	3	浄		
笈山北 11	9	南		
守山北 11	8	天		
▽3回戦				
御幸山 16	12	明		
沙路 20	6	神		
豊国 22	13	猪		
守山北 7	5	笈		
▽準決勝				
沙路 17	5	御		
豊国 22	11	守		
沙路 27	1314	37	10	豊
▽決勝				
沙路 27	1314	37	10	豊

守山北 14	6	東		
▽3回戦				
神沢 17	4	笹		
豊国 18	5	沙		
白山北 9	7	東		
守山北 20	6	東		
▽準決勝				
豊国 11	7	神		
白山北 7	5	守		
▽決勝				
豊国 12	66	27	9	白

東北大 20	17	教員		
学院大 30	9	仙台二高		
仙台大 O B 20	17	育英高		
▽代表決定戦				
東北大 25	1114	19	学院大 O	
仙台大 O 22	1012	96	15	学院大 B
▽女子				
全涌谷 22	5	古川女高		
▽1回戦				
古川商高 11	5	塩釜ク		
宮三女 O G 17	5	宮教大		
二華会 10	5	筑館女高		
仙女商高 9	3	杜の都ク		
飯野川高 8	7	宮二女高		
聖和学園 11	4	古川商 O G		
宮三女高 13	8	塩釜女高		
▽準々決勝				
全涌谷 18	8	古川商高		
宮三女 O G 12	8	二華会		
飯野川高 10	3	仙女商高		
聖和学園 10	9	宮三女高		
▽代表決定戦				
全涌谷 13	85	22	4	宮三女 O
聖和学園 13	76	43	7	飯野川高



勝利の伝説シェブロンラインは最高級品の証。

**“Chevron-Line”  
ist der Beweis  
höchster  
Qualität.**



**勝利をめざすなら、選ぶべきだ!**

——— 無言の威圧感を与えるヒュンメル ———

DOUBLE  
SCORE

総発売元 株式会社ダブルスコア / 総代理店 大松貿易株式会社  
大阪市南区難波新地3-27プリンスビルB1 〒542 TEL. (06) 213-6646



株式会社アシックス



# 一步速く。

鋭いダッシュ、確かなストップが  
ゲーム展開を有利にする。



アシックスタイガーのハンドボールシューズはスタートダッシュが鋭く速くでき、ストップが確実にできるシューズマシンです。だから どのような状況のプレーにも「一步速く」スムーズに動くことができます。従ってディフェンスを抜くことも容易でノーマークの状況をつくり出すことができます。また「攻」から「守」への転換もスムーズで速くできます。勝つために この一足を ぜひ。



ハンドボールBK (THH703) ■甲被は牛皮 カラーベロア。 ■底はノンスリップ意匠底。 ■タコの吸盤の原理を応用した特殊ソール。  
■レッド×ホワイト、ブルー×ホワイト ■サイズ 22.5~28.0cm

〔財〕日本ハンドボール協会編  
「ハンドボール」

第二〇二号

昭和四十年六月七日 昭和五十六年十月二十五日 印刷  
第三種郵便物認可 昭和五十六年十一月一日 発行

東京都渋谷区神南一丁目一  
電話代表(初)七〇九七  
振替東京六〇五八三四八番

編集兼  
荒川清美  
発行人

定価三百五拾円  
三年間購読五拾円  
三千三百円料